

令和3年度 第1回 岩手県企業局経営評価委員会

令和3年7月27日（火） 13:30～15:30

次 第

1 開 会

2 あいさつ（佐藤企業局長）

3 議 事

【報告事項】

(1) 令和2年度 決算概要について

【審議事項】

(2) 令和2年度の評価（実績）について

(3) 令和3年度 第1四半期の取組状況について

(4) その他

4 閉 会

配付資料

- 資料1-1 令和2年度 評価の総括
- 資料1-2 令和2年度 経営評価総括表
- 資料2-1 令和3年度 取組状況の総括（第1四半期）
- 資料2-2 令和3年度 経営評価総括表（第1四半期）
- 参考資料1 令和2年度 決算概要
- 参考資料2 令和2年度 取組内容一覧表
- 参考資料3 令和3年度 取組内容一覧表

令和3年度 第1回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

委員長	一関工業高等専門学校 副校長	あかし なおゆき 明石 尚之	
委員	岩手県立大学総合政策学部 准教授	いずみ けいこ 泉 桂子	
〃	いわて生活協同組合 常務理事	かねこ せいこ 金子 成子	
〃	早稲田大学水循環システム研究所 招聘研究員	なみかわ すすむ 濤川 進	
〃	盛岡ガス株式会社 常務取締役総務部長	まつかわ けん 松川 顕	
企業局	局長	きとう まなぶ 佐藤 学	
〃	次長兼経営総務室長	やえがし ひろふみ 八重樫 浩文	
〃	技師長	ふじわら きよと 藤原 清人	
〃 (経営総務室)	特命参事兼管理課長	すずき みつまさ 鈴木 光将	
〃	予算経理担当課長	ふるかわ あつし 古川 敦	
〃 (業務課)	総括課長	やまや のりひこ 山谷 紀彦	
〃	事業担当課長	こがわ けんいち 古川 健一	
〃	電気課長	たかはし ひろし 高橋 浩	
〃	土木・施設担当課長	た や せいこ 田家 清子	
〃	発電所再開発推進課長	いしかわ ゆきひろ 石川 幸洋	
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	むらかみ としひろ 村上 敏弘	
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	すがわら かつひろ 菅原 克浩	
事務局	経営総務室 経営企画課長	いとう くにひこ 伊藤 邦彦	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	おぼら じょう 小原 穰	
〃	経営総務室 経営企画担当 技師	きくち こうすけ 菊地 弘祐	
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	かつら まきゆき 桂 誠之	
〃	経営総務室 管理担当 特命課長	ほそかわ ひろもと 細川 普基	

(委員 50 音順 敬称略)

出席者数 22 名

令和3年度 第1回 岩手県企業局経営評価委員会 タイムスケジュール

令和3年7月27日(火) 13:30 ~ 15:30

内 容	予定時間	備考
1 開 会 2 挨 拶	13:30 ~ 13:40	
3 議 事 【報告事項】 (1) 令和2年度 決算概要について	13:40 ~ 13:55	参考資料1
【審議事項】 (2) 令和2年度の評価(実績)について	13:55 ~ 14:25	資料1-1 ~ 資料1-2
(休憩)	14:25 ~ 14:35	
(3) 令和3年度 第1四半期の取組状況について	14:35 ~ 15:15	資料2-1 ~ 資料2-2
(4) その他	15:15 ~ 15:25	
4 閉 会	15:25 ~ 15:30	

※下線部は令和2年度第3回経営評価委員会から変更があった部分

令和2年度 評価の総括（実績）

1 電気事業

経営目標については、上半期の水力発電が好調であったことなどから、供給電力量や経常収支比率など、すべての目標を達成しました。

取組内容の進捗状況については、築川発電所の建設において一部の工事着手に遅れが生じましたが、稲庭高原風力発電所等の再開発、容量市場への参加など、概ね計画どおり進捗しました。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、運転当直員との動線を分離するなど必要な対策を実施し、事業継続に努めました。

指標一覧（実績）

(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり		R2目標値	実績	達成度
経営目標	供給電力量(百万kWh)	559	<u>674</u>	A
	発電所建屋等の耐震化率(%)	90	90	A
	電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	73	73	A
取組内容	成果状況：11項目中 A 11項目(100%) B なし C なし			
(2)再生可能エネルギーの維持拡大		R2目標値	実績	達成度
経営目標	新規開発・再開発による供給電力量(千kWh)	R2は設定なし		
取組内容	成果状況：6項目中 A 5項目(83%) B 1項目(17%) C なし			
(3)経営環境の変化に対応した安定経営		R2目標値	実績	達成度
経営目標	経常収支比率(%)	122	<u>146</u>	A
取組内容	成果状況：6項目中 A 6項目(100%) B なし C なし			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のもとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった

【主な成果等】

(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

大規模災害等を踏まえた施設の強靱化を図るため、耐震工事及び耐震診断を実施するなど、施設の計画的な修繕・改良に取り組むとともに、新技術の活用として、各事業所へ空中ドローンを配備するなど、保守管理のスマート化に向けて取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、感染が拡大している地域からの作業員の往来を避けるため、稲庭高原風力発電所等の定期点検の時期を調整したほか、職場内の運転当直員と他職員の動線を分離するなどの対策を徹底し、適切な保守管理の実施に努めました。

(2) 再生可能エネルギーの維持拡大

築川発電所の建設において、令和2年3月の出水により築川ダムの工事に約1ヶ月の遅れが生じたため、発電所建屋工事など一部の工事着手が遅れましたが、令和3年度の運転開始に向けて、ダム建設事業と連携し、工程を調整しながら進めています。

稲庭高原風力発電所の再開発については、令和3年度の運転開始に向けて、新風車設置工事において仮設ヤードの造成を完了するとともに、既設風車撤去工事の契約を締結しました。また、地質ボーリング調査の結果をふまえ基礎構造の見直しを行いました。

胆沢第二、入畑発電所の再開発については、公募型プロポーザル方式により、工事契約を締結しました。

(3) 経営環境の変化に対応した安定経営

新たに創設された**容量市場への参加**について、令和6年度の適正な収入の確保に向けてオークションに参加し、**応札した全ての容量が約定**しました。

また、地域経済の循環などの観点から、売電先を特定する**特定卸供給**による売電契約について、**県内の地域新電力にニーズ調査を実施**したところ、昨冬の**市場価格高騰**などにより**市場価格リスク**が増していることや、**築川発電所及び稲庭高原風力発電所の発電電力量は、地域新電力が扱う電力量に対して大きい**ため、令和2年度においては**実施困難**と判断しました。

【主な課題と今後の対応】

水力発電所において、設備不良等による**供給停止が5件発生**したことから、機器の調整を行うなど、**一層の安定供給に努めます**。

築川発電所の建設について、一部の工事に遅れが生じていますが、工程等を精査し、令和3年度の**運転開始に支障が生じないよう調整**を進めます。

稲庭高原風力発電所の再開発について、基礎構造の変更により、運転開始時期が遅れる可能性があることから、**全体工程の精査**を行い、令和3年度の運転開始に向けて取り組んでいきます。

新たに創設された**容量市場**への参加について、応札した供給力を提供できるよう、**適切な維持管理による安定供給**に努めます。

2 工業用水道事業

経営目標については、配管の老朽化によるろ過水の供給停止が発生し、供給停止件数の目標が未達となりましたが、経常収支比率については、委託費などの節減により、目標を達成しました。

取組内容の進捗状況については、新たな水需要への対応において水利権及びダム使用権に係る国からの許可が得られるなど、計画どおり進捗しました。

指標一覧（実績）

(1)良質な工業用水の安定供給		R2目標値	実績	達成度
経営目標	供給停止件数(件/年)	0	1	D
取組内容	成果状況：7項目中 A 7項目(100%) B なし C なし			
(2)新たな水需要への対応		R2目標値	実績	達成度
取組内容	成果状況：1項目中 A 1項目(100%) B なし C なし			
(3)安定的な事業運営		R2目標値	実績	達成度
経営目標	経常収支比率(%)	100	107	A
取組内容	成果状況：5項目中 A 5項目(100%) B なし C なし			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった

【主な成果等】

(1) 良質な工業用水の安定供給

施設の強靱化に向けた第二北上中部工業用水道配水管更新工事などの**工事・委託は計画どおり完了**しました。

配管の老朽化等により、北上ろ過施設内で漏水事故が発生しましたが、ユーザー企業への操業に支障が生じないように**迅速に対応**しました。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、**工事・委託の完成検査をリモートで実施**するなどの対策を徹底し、**適切な保守管理の実施に努め**ました。

(2) 新たな水需要への対応

新浄水場建設に係る水源確保について、盛岡市と協議を重ね、令和2年10月に水利権及びダム使用権に係る**国からの許可を得るとともに、新浄水場の建設も計画どおり進捗**しました。

また、**市道建設の計画変更**に合わせて工事を**前倒し施工**するなど、状況の変化に対応しながら事業を進めました。

(3) 安定的な事業運営

金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、ユーザー企業の水需要の動向を踏まえながら、電気設備の更新等について検討するなど、**令和4年度からの工事開始に向けた準備を進め**ています。

また、効率的な経営に向けて、令和3年度から第一北上中部工業用水道と第二北上中部工業用水道の**事業統合**をすることとしました。

【主な課題と今後の対応】

新たな水需要への対応における取水口の建設については、一部の施工が河川水位の低い時期に限られることから、適切な工事管理に努めていきます。

新型コロナウイルス感染症の影響など、ユーザー企業の実使用水量の動向を注視していきます。

北上ろ過施設内での漏水事故について、今後、本格復旧に向けて対応していきます。

3 組織力向上と地域貢献

経営目標については、第一種及び第二種電気主任技術者を3名確保するなど、新規資格取得者数の目標を達成しました。また、複数の植樹活動支援事業が中止となったことなどから、温室効果ガス削減量の目標は未達となりました。

取組内容の進捗状況については、売電先の小売電気事業者と連携し、CO₂フリーの電力を供給する新たな取組を開始するなど、概ね計画どおり進捗しました。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、局内の集合研修、施設見学会の開催方法等を見直して実施しました。

指標一覧（実績）

(1)組織力向上		R2目標値	実績	達成度
経営目標 ※計画期間(R2～R5)累計	新規資格取得者数 (第二種電気主任技術者)(人)	2	3 (うち第一種取得1名)	A
	新規資格取得者数 (第一種ダム水路主任技術者)(人)	0	0	—
取組内容		成果状況：11項目中 A 11項目(100%) B なし C なし		
(2)地域貢献		R2目標値	実績	達成度
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t以上/年)	120以上	73	C
取組内容		成果状況：6項目中 A 5項目(83%) B なし C 1項目(17%)		

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった

【主な成果等】

(1) 組織力の向上

新入者安全衛生教育などの局全体の集合研修については、各事業所で分散して実施する方法に見直すなど、感染対策を踏まえて研修を実施しました。

また、施設見学会については、例年のバスツアーから参加者が現地に集合する方法に見直して実施したところ、計102名に参加いただき、92%以上の方から満足または概ね満足の評価をいただきました。

(2) 地域貢献

電力供給を通じた地域貢献については、「いわて復興パワー」による電気料金の割引対象拡大を図るとともに、東北電力(株)、久慈地域エネルギー(株)と連携し、企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電気を供給する新たな取組を開始しました。

(「アマリングリーンでんき」及び「いわて復興パワー水力プレミアム」の取組によって供給されたCO₂フリー電気は、年間1,012t以上の温室効果ガス削減効果に相当)

また、植樹活動支援事業では、13件の支援を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により6件の事業が中止となったため、二次募集により2件の支援を実施し、計9件の支援を実施しました。

【主な課題と今後の対応】

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、引き続き感染対策の徹底や新しい生活様式の実践などに取り組めます。

今年度受講できなかった研修等について、来年度早期に受講できるよう調整を行います。

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

※下線部は令和2年度第3回経営評価委員会から変更があった部分

1 電気事業

(取組の方向性) (1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	219	128	347	89	124	559	A
	実績	237	188	425	75	<u>173</u>	<u>674</u>	
	達成率	109%	147%	123%	84%	<u>140%</u>	<u>121%</u>	
発電所建屋等の耐震化率(%)	計画	80	80	80	80	90	90	A
	実績	80	80	80	80	90	90	
電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	計画	68	68	68	68	73	73	A
	実績	68	68	68	68	73	73	

参考指標 (H22-30 平均)	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]水力発電所の供給停止件数(件/年)	3	0	2	2	2	1	5
[参考] 〃 の供給停止時間(時間/年)	68	0	10	10	<u>388</u>	<u>914</u>	<u>1,312</u>
[参考] 〃 の供給停止電力量(百万 kWh/年)	0.055	0	0.024	0.024	<u>0.673</u>	<u>1.176</u>	<u>1.874</u>

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上100%未満、C: 60%以上80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

1) 令和2年度の水力、風力、太陽光合計の供給電力量は 674 百万 kWh、達成率は 121%と計画を大きく上回り、目標を達成しました。

- ・水力発電については、年間の出水率が103%、降水量が114%と平年を上回り、岩洞第一や仙人など規模の大きい発電所を始め多くの発電所が好調であったことから、年間の供給電力量は 122%と計画値を大きく上回りました。
- ・風力発電については、年間の平均風速は 98%と平年をやや下回りましたが、供給電力量の達成率は 107%となり、計画を上回りました。個別の発電所で見ると、高森高原風力発電所は、平均風速は 98%と計画をやや下回ったものの、発電に適した風況であったことから、供給電力量の達成率は 107%と計画を上回りました。また、再開発に向け発電を停止する稲庭高原風力発電所は、再開発に係る工程管理の見直しを行い、停止時期を当初計画より1か月程度遅らせた結果、供給電力量の達成率は 124%と計画を大きく上回りました。
- ・太陽光発電については、年間の日射量は 94%と平年を下回ったことや、積雪が多く発電できない日が多かったことにより、供給電力量の達成率は 98%と計画をやや下回りました。

2) 発電所建屋等の耐震化率について、今年度は岩洞第二発電所及び逆川揚水所の耐震工事が完了し、耐震化率は計画どおり 90%となりました。

3) 電力土木施設の耐震診断進捗率について、今年度は仙人発電所の水圧管路など2施設の診断を実施し、進捗率は計画どおり 73%となりました。

4) 水力発電所の供給停止について、5件の設備不良等による供給停止（仙人、滝、四十四田、胆沢第三、北ノ又第二）が発生しましたが、速やかな復旧に努めました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	a	A	③	ア 新技術の導入	a	A
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	a	A		イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	a	A
	ウ 耐震化計画の推進	a	A		④	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	a
②	ア 適切な保守作業の実施	a	A	イ 河川管理者等との連携		a	A
	イ 風水害への備え	a	A	ウ 発電所共同運転事業者との連携		a	A
	ウ マニュアル等の見直し	a	A				

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとはC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 年度別事業実施計画（10か年計画）に基づき、施設の修繕・改良工事及び委託業務について、計画的な発注や適切な施工監理に努めました。
 - ・施設総合管理所大物倉庫他建替工事の発注に向けて建築確認の申請を行いました。
 - ・仙人発電所天井クレーン分解点検補修等工事について、令和3年度の現地施工に向け、計画どおり工事契約を締結しました。
 - ・北ノ又キュービクル更新工事ほか設計業務委託について、令和3～5年度の施工に向け、更新機器仕様や工程等に係る詳細設計を行いました。
- 2) 仙人発電所取水塔の耐震化に係る整備方針について、湯田ダム管理者及び共同事業者と協議を行い、「100年に1～2度程度発生する大地震に対して、安全性を有する構造に改修する」方針を進めることとしました。

② 適切な保守管理の実施

- 1) 年間スケジュールに基づき、工事等に伴う河川法手続等を適切に実施し、修繕・改良を円滑に実施しました。
- 2) 電気工作物保安規程、定期点検手入れ計画等に基づき、施設の保守管理を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、一部の発電所については定期点検の時期を変更する等の対策を実施しました。

【対策の例】

 - ・特定警戒都道府県在住の作業員等が含まれる定期点検の延期
 - ・運転当直員及び発電所直接運転の代替要員候補者のリストアップ
 - ・施設総合管理所の保守担当（1F職員）と運転当直員（2F職員）の行動範囲の制限と動線分離
 - ・運転当直員に罹患者が発生した場合を想定し、別フロアに仮設の監視制御室を準備
 - ・発電所トラブル発生時について、復旧作業の延期も想定した、対応フローの準備 など
- 3) 作業前のTBM-KYの徹底など、安全で適切な作業の実施に努めるとともに、発電所の定期点検に際し、電気主任技術者による保安パトロールを行い、保安の確保に取り組みました。
- 4) 風力発電について、法令に基づき年2回の定期事業者検査を実施するなど、保安の確保に努めました。

また、高森高原風力発電所については、運転開始後初めて法令に基づく定期安全管理審査を受審し、定期事業者検査が適正に実施されていることが確認されました。

③ 新技術の活用

- 1) IoT・AI技術の活用については、技術担当課長会議の特定課題検討グループにおいてIoT、AI機器やドローンの活用方法などの検討を進めたほか、柏台発電所及び岩洞第一発電所において、発電機の回転速度のデータなど既存の集中監視制御システムでは遠隔監視していない信号を取得するなどIoT機器の実証試験を開始しました。
- 2) 建設中の築川発電所について、IP回線を活用した遠方監視制御システムの構築に向け、発電所側（子局側）、監視制御室側（親局側）の施工や双方の組合せ試験を計画どおり進めています。
- 3) 災害や故障発生の際の効果的な情報共有に活用するため、各事業所等へスマートフォン、大型モニタ、Webカメラ等を配備し、新たな情報伝達システムの整備を行いました。なお、情報伝達システムはコロナ禍におけるWeb会議にも活用しています。
- 4) 設備点検の効率化・高度化や災害時の迅速な状況把握を目指し、各事業所へ空中ドローンを配備したほか、運用要領の策定や損害保険の加入、操作研修の実施など、空中ドローンの利活用に係る環境を整えました。
- 5) 空中ドローンによる岩洞第一発電所の鉄管の内部点検(9/23～25)を試行しました。点検結果を基に従来からの点検方法との比較検証を実施し、全体的な変状箇所の確認ができたことから、詳細点検前の一次点検として活用できることを確認しました。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 岩洞ダム共有施設の改良工事(国営岩手山麓農業水利事業)について、岩手山麓農業水利事業所と工事の実施時期等について協議を実施するとともに工事を進め、今年度予定した工事は完成しました。
- 2) 胆沢第二発電所の農業用水にかかる共有施設の改修工事について、昨年度に行った基本設計業務委託の検討成果をもとに事業費等の精査を進め、共同事業者と協議(10/20)、現地調査(12/4)を実施しました。

主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 引き続き、**施設の計画的な修繕・改良の実施**に向け、**年度別事業実施計画（10か年計画）**に基づき**工事、委託等の発注管理、進捗管理**に努めます。また、施工中の工事（仙人発電所天井クレーン分解点検補修及び改良工事）について適切な施工監理を行います。
- 2) 仙人発電所取水塔の耐震化に係る整備方針は、今後、整備スケジュール等について、共同事業者と協議を進めていきます。

② 適切な保守管理の実施

- 1) 引き続き、保安規程や保守要則、法令を順守のうえ、定期点検手入れ計画に沿って適切な保守管理、安全で適切な作業の実施に努めます。
- 2) 河川法手続きについて、引き続き、工事等のスケジュールに合わせて適宜手続きを進めます。
- 3) **供給停止**については、機器の調整や関係機関と協議をするなど、**再発防止に努めます**。

③ 新技術の活用

- 1) 築川発電所の遠方監視制御のIP化に係る集中監視制御システム改修工事について、令和3年7月の運転開始に向け、工事を進めます。
- 2) IoTやAI等の新技術の導入検討に向けて積極的な**情報収集と実証試験**の検証を進めます。
- 3) 空中ドローンによる鉄管の内部点検について、岩洞第一以外の発電所でも実施可能か試行することを検討中です。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) **岩洞ダム共有施設の改良工事**を行っている東北農政局と、工事の進捗状況等について毎月協議・調整を行い、**工事に遅れが生じないよう努めていきます**。
- 2) **胆沢第二発電所の農業用水にかかる共有施設の改修工事**について、令和2年度の東北農政局との協議及び現地調査を踏まえ、事業費などの計画内容を精査して、改修案を策定し、引き続き、**共同事業者と協議を進めていきます**。

- ・ 供給電力量電源別内訳
- ・ 気象データ
- ・ 供給停止件数の過去平均と原因別比較
- ・ 発電所建屋等の耐震化工事箇所数
- ・ 電力土木施設の耐震診断箇所数
- ・ 電力料収入
- ・ 収入、支出の状況 については補足説明資料のとおり

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

※下線部は令和2年度第3回経営評価委員会から変更があった部分

1 電気事業
(取組の方向性) (2) 再生可能エネルギーの維持拡大

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
新規開発・再開発による供給電力量 (千 kWh)	計画	-				-	/
	実績	-	-	-	-	-	

【特記事項】

特記事項なし

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 築川発電所の建設	b	B	②	ア 稲庭高原風力発電所(令和2～3年度)	a	A
	イ 新規開発に向けた調査等	a	A		イ 胆沢第二発電所の再開発(令和2～8年度)	a	A
			ウ 入畑発電所の再開発(令和2～7年度)		a	A	
			エ 再開発の検討		a	A	

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 新規開発の推進

- 築川発電所の建設については、放水路ゲートの据付が完了し、落石防止対策工事が完成しました。また、築川ダムの試験湛水は3月18日にサーチャージ水位に到達し、4月には試験湛水が終了する見込みです。
- 令和2年3月の出水によりダム建設工事（護岸工事及び管理用道路工事）の遅れに伴い、発電所の現地工事の着手が1カ月程度遅れましたが、関連する工事間での工程調整を行いながら、工事を進めています。
- 新規開発に向けた調査について、既存成果等の再精査のほか現地調査を進めました。

② 再開発の推進

- 稲庭高原風力発電所の再開発に係る新風車設置工事について、風車基礎の設計、仮設ヤードの造成工事が完了しました。また、既設風車撤去工事の契約を締結するとともに、令和3年度の新風車設置及び既設撤去の現地施工に向けた受注者間の工程調整を行い、概ね計画どおりに進捗しています。
- 胆沢第二・入畑発電所の電気設備更新工事について、公募型プロポーザルで選定した優先交渉権者と契約を締結しました。また、固定価格買取制度の認定に必要な一般送配電事業者への接続検討申込みを行うなど、計画どおりに進捗しています。

主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

- 築川発電所の建設について、来年度に予定している運転開始に向けた水車発電機等の各種試験が予定どおり実施できるよう、ダム建設事業と連携し、工程を調整しながら進めていきます。
- 新規開発に向けた調査について、引き続き既存成果等の再精査と現地調査、関係機関との情報共有を図りながら、開発の可能性について検討していきます。

② 再開発の推進

- 胆沢第二・入畑発電所の再開発に係る電気設備更新工事について、電気設備の更新に係る詳細設計を進めるとともに、令和3年度における固定価格買取制度の認定に向けて取り組んでいきます。
- 稲庭高原風力発電所の再開発に係る新風車設置工事について、地質ボーリングの調査の結果、基礎構造の変更が必要となり、運転開始時期が遅れる可能性があることから、事業工程の精査を行い、各工程の短縮を図るなど、令和3年度の運転開始に向けて取り組んでいきます。また、主要機器の風車等は海外製品であるため、新型コロナウイルス感染症による影響について注視していきます。

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

※下線部は令和2年度第3回経営評価委員会から変更があった部分

1 電気事業

(取組の方向性) (3) 経営環境の変化に対応した安定経営

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	122	146	A

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

【特記事項】

経常収支比率は、水力発電の供給電力量の増加や岩洞ダム共有施設改良工事負担金、委託費の減などにより、146%となり目標を達成しました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	a	A	②	ア 業務の効率化	a	A
	イ 供給電力量の向上に向けた取組	a	A		イ 経費の平準化	a	A
	ウ 地域新電力との協働・連携	a	A	③	電力の新たな付加価値の検討	a	A

注) 進捗状況 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 適正な収入の確保

- 適正な収入の確保に向け、令和2年度から新たに始まった4年後の電力の供給力(kW 価値)を取引する容量市場に参加し、令和6年度を対象としたオークションにおいて、**企業局が応札した全ての容量が約定**しました。これにより、令和6年度における供給力(kW 価値)に係る収入を最大限確保することが可能となりました。
- 非FIT電源について、非化石証書化に係る電力量の認定手続きを開始し、電力供給契約に基づき、契約の相手方に対し、**非化石価値の受け渡し**を行っています。
- 高森高原風力発電などFIT電源の非化石価値について、昨年度に引き続き、国が行う**トラッキング実証試験へ参加**し、小売電気事業者による**非化石証書の取引の活発化に寄与**するとともに、**再生可能エネルギー導入の取組に係るPR及び非化石証書のニーズ把握**を行いました。
- 供給電力量の向上に向けた**高効率機器の導入**として、令和4年度施工予定の仙人発電所の大規模修繕工事に向け、令和元年度のランナ流れ解析業務の成果を踏まえ、**水車ランナ購入契約を締結**しました。

② 経営の効率化

- 保守業務の効率化・高度化に資する特定課題として、「年度別事業実施計画(10か年計画)様式の見直し」、「IoT・AI技術の利活用に係る方向性検討と問題点の整理」、「作業停止計画の作成に係る標準の策定」に関する検討を行い、**局内の対応方針を決定**しました。
 - 「年度別事業実施計画(10か年計画)様式の見直し」
 - 目的：記載方法の簡素化による保守業務の効率化のため、記載内容を精査し、**様式の見直し**を行う。
 - 成果：修繕費・改良費等について同一様式で管理するなど、記載方法の合理化を実施。
 - 「IoT・AI技術の利活用に係る方向性検討と問題点の整理」
 - 目的：保守業務の高度化を図るため、発電施設や工業用水施設へのIoTやAI等の活用について検討。
 - 成果：各メーカーから**新技術の情報収集**を行ったほか、IoT、AI及びドローンの活用方法について整理。
 - 「作業停止計画の作成に係る標準の策定」
 - 目的：保守業務の効率化のため、発電停止期間の考え方の基準や目安となる「**標準**」の策定を目指す。
 - 成果：特定課題検討グループにおいて、過去3年間の作業停止計画について、計画と実績の乖離理由の調査分析を行い、「**標準**」の策定に向けた基本的な考え方を整理。
- 発電所の効率的な運用のため、一般送配電事業者など関係機関と発電停止や出力制限を伴う作業予定の調整を行い、令和3、4年度の**年間作業停止計画を策定**しました。

- 3) 経費の平準化等による**安定的な経営**に向けて、今後の工事・委託事業の精査や長期的な収支見通しの試算結果を踏まえた大規模修繕工事等の実施時期の調整を行い、**年度別事業実施計画（10か年計画）の見直し**を行いました。
- 4) 保守担当員の負担軽減のため、**年度別事業実施計画（10か年計画）**について、例年4月から始める見直し作業を試行的に12月から行うこととし、現在、**令和3年度版の策定**に取り組んでいます。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- 1) 県内の地域新電力を対象に、FIT電源の特定卸供給*についてのニーズ調査を実施したところ、昨冬の**市場価格高騰**などにより**市場価格リスク**が増していることや、**築川発電所及び稲庭高原風力発電所の発電電力量は、地域新電力が扱う電力量に対して大きい**ため、令和2年度においては**実施困難と判断**しました。

主な課題と今後の対応

① 適正な収入の確保

- 1) 容量市場の運営機関である電力広域的運営推進機関と締結した容量確保契約に基づき、約定した令和6年度の供給力を確実に提供できるよう、引き続き適切な維持管理による電力の安定供給に努めるとともに、小売電気事業者への影響や制度の見直し等について注視していきます。
- 2) 非FIT電源の非化石価値の受け渡しについて、毎月の電力量認定を適切に行い、引き続き電力供給契約の相手方に対し受け渡しを行います。
- 3) 仙人発電所の水車ランナ購入について、令和4年度からの大規模修繕工事に向けて、ランナ製作を進めます。

② 経営の効率化

- 1) 技術担当課長会議において検討した特定課題に係る局内の対応方針に従い、IoT機器のなど今後の保守業務の効率化等に取り組めます。
- 2) 今年度策定した「**令和2年度版 年度別事業実施計画(10か年計画)**」及び「**令和3、4年度 年間作業停止計画**」に従い、**計画的な工事・委託等の実施**に取り組めます。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- 1) 令和3年度に予定している築川発電所及び稲庭高原風力発電所の運転開始を踏まえ、特定卸供給について引続き調査検討を進めます。

*特定卸供給：発電事業者が承諾することにより、送配電事業者を経由して特定の小売電気事業者に発電所を特定した電力を供給できる売電方法。

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

※下線部は令和2年度第3回経営評価委員会から変更があった部分

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1) 良質な工業用水の安定供給

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給停止件数(件)	計画	0	0	0	0	0	0	D
	実績	0	0	0	1	0	1	
参考指標		参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
[参考]工業用水の濁度(度)		0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.5
[参考]工業用水の水素イオン濃度(pH)		7.00	6.99	7.00	7.00	6.99	6.97	7.00

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD

【特記事項】

令和2年12月3日、配管の老朽化等により北上ろ過施設内で漏水事故が発生し、翌日、**ろ過水の給水停止が発生**しました。**【給水停止期間：令和2年12月4日～令和2年12月25日】**

なお、ろ過水停止の際には、一般水の給水に切り替え、ユーザー企業の操業に支障が生じないように対応しました。

取組内容の進捗状況

取組内容				進捗	成果	取組内容				進捗	成果
①	ア	旧第三北上中部工業用水道加圧脱水機更新	a	A	①	ア	適切な保守作業の実施	a	A		
	イ	第二北上中部工業用水道配水管更新	a	A		イ	適切な水質管理の実施	a	A		
	ウ	第二北上中部工業用水道天日乾燥床増設	a	A		ウ	トラブル発生時の対応	a	A		
					②	新技術の活用	a	A			

注) 進捗状況 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとしてC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

1) 工事・委託とも計画どおり完了しました。(工事の実施状況については以下のとおり)

[第二工水]

- ・送水管更新(JR横断部)工事 R2.5.7 契約済み **R3.3.29 完了 R3.3.30 完了検査済み**
- ・配水管更新(1-1工区)工事 R2.9.8 契約済み **R3.3.29 完了 R3.3.30 完了検査済み**
- ・天日乾燥床詳細設計業務委託 R2.6.1 契約済み **R3.3.15 完了 R3.3.24 完了検査済み**
- ・天日乾燥床増設用地等地質調査業務委託 R2.6.15 契約済み R2.8.19 完了 R2.8.26 完了検査済み

[旧第三工水]

- ・汚泥脱水機更新(機械/電気設備)工事 R2.7.31 契約済み(機械)・10.15 契約済み(電気) ⇒ 工期：R2～R3
- ・3号・4号配水ポンプ補修工事 R2.7.21 契約済み **R3.3.15 完了 R3.3.18 完了検査済み**

[北上ろ過]

- ・原水流量計ほか更新工事※ R2.9.14 契約済み **R3.2.10 完了 R3.2.19 完了検査済み**

※ 施工箇所「第二工水」「旧第三工水」「北上ろ過」分を一括発注

② 適切な保守管理の実施

1) 維持管理要領に基づき計画的な点検及び委託業務を実施しました。

2) 老朽化等に伴う漏水事故が発生したことから、給水の切り替えや仮復旧等を実施し、ユーザー企業の操業に支障が生じないように対応しました。

※ 給水継続期間：平成25年5月23日～令和2年12月3日(2,752日間、作業等による停止を除く)

3) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、工事請負者に対し、作業や打合せの場面で密閉・密集・密接を徹底的に回避するよう要請するとともに、工事・委託の完成検査をリモートで実施するなど、感染拡大の防止に取り組みました。

③ 新技術の導入

- 1) 局内の特定課題検討グループにおいて、IoT・AI技術の活用に係る工水事業への展開について検討し、活用方法について整理しました。
- 2) [旧第三工水] 凝集剤注入の最適化に向けて、凝集センサー実証試験(9/28~3/31)をメーカーと連携して取り組みました。
- 3) 空中ドローンの導入等を検討するため、局内で実施した操作研修に参加しました。

主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 各工事・委託が計画どおり完了するよう、適切な工程管理に努めていきます。

② 適切な保守管理の実施

- 1) 改修工事等の実績を踏まえ、必要に応じて維持管理要領の見直しを進めます。
- 2) 北上ろ過施設内での漏水事故については仮復旧の状態であり、今後、本格復旧に向けて対応していきます。

③ 新技術の導入

- 1) 空中ドローンを活用した建設工事現場の写真撮影など、その活用の可能性について検討を行うとともに、操作研修の実施に加え、新技術の導入や今後の動向について情報収集等を行います。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

経営目標、参考指標の状況

設定なし

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
水需要に応じた施設の整備	a	A

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

1) **水需要に応じた施設の整備**について、水源確保に関しては、6月29日に盛岡市とのダム使用権の移転等に関する基本協定書を締結し、7月1日に**水利権及びダム使用権**に係る国への許可申請を行い、**10月に許可**が得られました。

2) **浄水場建設事業及び取水口建設事業は概ね計画どおり**進んでいます。また、大手半導体製造企業の北上工業団地内への立地に伴い、北上市等における周辺の道路整備や土地造成が計画よりも早く進捗したため、**新浄水場及び既設の配水管布設の前倒しの整備やルート変更等について適時適切に対応**しました。

(各建設工事等の実施状況等については以下のとおり)

【**浄水場建設事業**】 > 令和2年3月27日に**契約締結済** (工期: R1~R4)

- ・ **土木(第一期)工事** ⇒ R2.6.1 **仮設工開始**
- ・ **建築工事** ⇒ R2.8.24 **仮設工開始**
- ・ **建築工事監理業務委託** ⇒ R2.6.4 **契約済**
- ・ **機械設備(第一期)工事** ⇒ 受注者契約図書の精査中、一部配管納入
- ・ **電気設備(第一期)工事** ⇒ 受注者契約図書の精査中

【**取水口建設事業**】 > 順次工事等発注 (工期: R2~R4)

- ・ **取水口土木積算業務委託** ⇒ R2.6.9 **業務完了**
- ・ **取水口建設土木工事** ⇒ R2.12.2 仮設工開始
- ・ **取水ポンプ棟建築工事** ⇒ 発注前準備 (R2→3に見直し)
- ・ **建築工事監理業務委託** ⇒ 発注前準備 (”)
- ・ **取水口建設機械設備工事** ⇒ R3.3.31 落札決定 (R3.4.12 契約済)
- ・ **取水口建設電気設備工事** ⇒ R3.3.30 契約済

【**配水管布設**】 > 順次工事等発注 > 市道整備の前倒しや北上工業団地内の**用地整備等**への対応

《**新浄水場分**》

- ・ **配水管布設工事(第2工区)** ⇒ R2.8.20 契約 ⇒ 工期: R2~R3
- ・ **配水管布設工事(第1工区)** ⇒ 布設工法の検討。市道横断部の詳細設計をR2.12.17 契約 (R2.12.18~R3.7.30)
布設工事の工期: R3~R4の予定

《**既設浄水場配水管分**》

- ・ **[旧北上] 配水管布設工事設計業務委託** ⇒ R2.8.6 契約 R3.2.26 完了 R3.3.2 完了検査済み
- ・ **[旧第三] 配水管本管盛替え工事(東部道路部)** ⇒ R2.9.10 契約 R3.3.12 完了 R3.3.17 完了検査済み
- ・ **[旧第三] 配水管本管盛替え工事(JSC前)** ⇒ R2.10.29 契約 R3.3.26 完了 R3.3.31 完了検査済み
- ・ **[旧第三] 配水管本管盛替え工事設計業務委託は、「配水管布設工事設計業務委託」と合冊発注済み**

主な課題と今後の対応

1) **建設工事等**については、今後においても、工事全体の工程及び適切な予算の管理を行い、**施設・設備等の整備に影響が生じないよう**努めていきます。

2) **取水口の建設**については、川側護岸工や仮締切設置・撤去工等の施工が**河川水位の低い時期に限られる**ことから、確実な施工に向けて、**適切な工事管理に努めて**いきます。

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

※下線部は令和2年度第3回経営評価委員会から変更があった部分

2 工業用水道事業
(取組の方向性) (3) 安定的な事業運営

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	100	107	A

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

経常収支比率は、ユーザー企業の使用廃止等に伴い基本使用水量が減となったことなどにより給水収益が減となりましたが、委託費等の節減に取り組んだことから、107%となり目標を達成しました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	a	A	②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	a	A
	イ 経費の平準化	a	A		イ 改良費に対する国庫補助金や公営企業債の要望	a	A
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	a	A				

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のもの C判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 経営の効率化

- 業務の効率化について、同一箇所・同種の工事等を合冊発注し、経費節減に努めました。
- 経費の平準化について、年度別事業実施計画の見直しを行い、年度毎の工事・委託等の平準化を図りました。
- 効率的な経営のあり方についての検討に関しては、ダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、各種試験や金ヶ崎ろ過施設(第二期)電気設備の更新工事等の検討、ユーザー企業との調整を行うなど、令和4年度からの工事開始に向けた準備を進めています。
- 水源の確保に伴う最大給水量の変更や事業統合等について、12月県議会で条例改正案の議決を得ました。

② 適切な収入の確保

- 契約水量の維持・増量に向けた取組として、4月から5月及び11月から12月にかけてユーザー訪問(延べ19社)を実施しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、半数程度のユーザーのみの訪問となりましたが、使用水量の動向などについて情報交換を行いました。
- 改良費に対する補助金や公営企業債の要望として、6月10日に政府予算要望を行いました。
- 国土強靱化のため、国庫補助金等を活用し、配水管や脱水機等の増強等を行い、効果的な経営に努めました。

主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

- 金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングについては、令和5年度からの実施に向けて、施設の整備を進めていきます。
- 事業統合後においては、改良・修繕・委託に関する長期的な計画を検討する際に、事業全体で平準化や個別施設の改修の集中化を考慮した計画を弾力的に検討・策定することにより、効率的な工事発注や施設改修等が図られるよう努めていきます。

② 適切な収入の確保

- 新型コロナウイルス感染症の影響など、ユーザー企業の実使用水量の動向に注視していきます。
- 改良費に対する補助金や公営企業債に関する国の動向等に注視し、適時適切に国への要望等を行っていきます。

・実使用水量、料金収入、収入、支出の状況については補足説明資料のとおり

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

※下線部は令和2年度第3回経営評価委員会から変更があった部分

3 組織力向上と地域貢献
(取組の方向性) (1) 組織力向上

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人)	計画	2				2	A
	実績	0	2	0	0	3 (うち第一種1名)	
第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人)	計画	0				0	-
	実績	0	0	0	0	0	

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]第二種電気主任技術者有資格者数(人)	6	6	8	8	8	8	8
[参考]第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)	6	6	6	6	6	6	6
[参考]専門研修受講者数(人)	412	57	71	128	66	165	359
[参考]職員満足度調査における満足度(%)	79						
[参考]企業局施設見学者数(人)	1,574	5	275	280	100	0	380

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

【特記事項】

- 1) 電気主任技術者の新規資格取得について、実務経験により第二種では2名が資格を取得したほか、第一種では1名が資格を取得しました。
- 2) 電気主任技術者試験の受験を奨励するとともに、局職員による講習会を実施するなどして支援を行い、二種4名、三種13名が受験し、三種において1名が合格しました。
- 3) 第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向け、県土整備部のダム点検に同行し、実務経験を積む取組を行いました。

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果	取組内容	進捗	成果
① ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備 イ 有資格者の計画的な確保・育成 ウ 人材育成・技術継承 エ 経営力の強化	a	A	③ ア ワーク・ライフ・バランスの確保 イ 職員の働きやすさ向上 ウ 安全衛生対策の充実	a	A
	a	A		a	A
	a	A		a	A
	a	A	④ ア 広報活動 イ 企業局施設での見学者の受入れ、施設見学会の開催	a	A
② ア 災害への対応体制の確立 イ リスクマネジメント	a	A	a	A	
	a	A			

注) 進捗状況 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 人材の確保・育成

- 1) 職員採用について、I種（電気職3名、機械職1名）及びIII種（電気職1名、機械職1名）共に当初の採用予定数を確保し、令和3年4月1日付で採用しました。
- 2) インターンシップ（8/11～12、8/31～9/2）において4名の受け入れを行いました。
- 3) 県内の学校に企業局職員を講師として派遣し、業務説明（7/10）を行いました。
- 4) 研修検討会議において決定した今年度の専門研修実施計画に沿って、研修を実施しました。（3月末実績359名）
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、研修の受講を見送ったものがあるため、必要に応じ来年度の早期の受講に向けて調整することとしました。
- 5) 発電設備の保守及び運用における技術力向上のため、昨年度実施した電力供給契約プロポーザルでの提案事項（県の施策推進に寄与する取組の提案）に基づき、東北電力㈱と技術交流会を開催しました。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

- 1) 非常連絡訓練(4/10)及び応急対応訓練(8/27)を実施しました。また、災害応急対策マニュアルを新年度版に更新しました。
- 2) 安全パトロール（7月、2月）を実施し、事故防止対策に取り組みました。また、1年以上の無事故を対象とする労働災害無事故表彰を行いました。(R2.10.1 施設総合管理所1年、R2.10.12 県南施設管理所2年)
- 3) リスクマネジメントについては、新型コロナウイルス感染症を追加するなど新たなリスクへの対応を進めるとともに、リスクマネジメントの手引きの修正について検討しました。

③ 職場環境の充実

- 1) 職員育成と組織力向上を目的に、若手職員を対象として局長と職員との意見交換会を7回開催し、仕事上心がけていることなどについて意見交換を行いました。
- 2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、不要不急の出張等の自粛、手洗いや咳エチケットの励行などの感染防止対策、時差出勤の活用、在宅勤務の実施等に取り組みました。また、新型インフルエンザ等対策業務継続計画の見直しを行いました。

④ 企業局事業の理解促進

- 1) 企業局施設カードの配布と施設の見学者の受入れについて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止及び冬期間における安全確保の観点から、12月1日から当面の間休止しています。
- 2) 企業局施設見学会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、例年のバスツアー方式から、参加者が現地に集合する施設公開方式により開催し、102名に参加いただき、92%以上の方から満足または概ね満足の評価を得ました。

主な課題と今後の対応

① 人材の確保・育成

- 1) 電気職3名の欠員を解消するため、リクルート活動などの取組により採用計画に基づく新採用職員の確保に努めていきます。また、土木職については、県土整備部との緊密な連携により、必要な人員の確保に努めていきます。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

- 1) リスクマネジメントにおいて、新型コロナウイルスへの対応も含めて、取組を進めていきます。
- 2) 災害応急対策マニュアルについて、今後も必要に応じ見直しを行います。

③ 職場環境の充実

- 1) ワーク・ライフ・バランスの確保、職場の働きやすさ向上について、昨年度実施した職員満足度調査の実施結果やコロナ禍における業務の効率化等を踏まえ、知事部局等と連携しながら、具体的な取組の実施方法について検討していきます。
- 2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、感染症予防対策の徹底や新しい生活様式の実践などに取り組みます。

④ 企業局事業の理解促進

- 1) 企業局の認知度向上及び理解促進を図るため、知事部局や売電先等と連携したPRの実施や、効果的なPRツールの作成などに取り組みます。

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

※下線部は令和2年度第3回経営評価委員会から変更があった部分

3 組織力向上と地域貢献
(取組の方向性) (2) 地域貢献

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(t以上/年)	実績(t以上/年)	達成度
地域貢献による温室効果ガス削減量	120以上	<u>73</u>	C

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援金額(千円)	23,000	0	0	0	8,331	<u>20,469</u>	<u>28,800</u>
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援件数(件/年)	9	0	0	0	4	6	10
[参考]植樹活動支援事業の支援金額(千円)	2,300	<u>90</u>	<u>778</u>	<u>868</u>	<u>572</u>	0	1440
[参考]植樹活動支援事業の支援件数(件/年)	13	<u>2</u>	3	<u>5</u>	<u>4</u>	0	9

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

クリーンエネルギー導入支援事業は参考指標を上回る支援となりましたが、植樹活動支援事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、複数の支援対象事業が中止となったことから参考指標を下回り、温室効果ガス削減量の目標は未達となりました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 小売電気事業者と連携した取組	a	A	②	ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村等向け補助事業)	a	A
	イ 一般会計への繰出し	a	A		イ 環境全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	a	A
					ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	b	C
				③	水素利活用推進プロジェクト	a	A

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のもの C判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 電力供給を通じた地域貢献

- 平成30年度から、東北電力株式会社と連携して取り組んできたいわて復興パワーによる電気料金の割引について、令和2～3年度も継続することとしており、3月末時点で適合事業者数は延べ773件となっています。(令和2年度の料金低減効果は約1億6千万円)
- 震災復興・ふるさと振興関連施策を財政的に支援することにより、地域の発展等に貢献することを目的として、「震災復興・ふるさと振興パワー積立金」を活用し知事部局等が行う6事業に対し一般会計繰出を実施しました。(令和2年度: 約1億円)
- また、4月1日より、久慈地域エネルギー株式会社と連携し、滝発電所で発電したCO₂フリーの電力を供給する「アマリングリーンでんき」の取組を実施し、3月末時点で契約者数は26件となっています。
- さらに、6月1日より、東北電力株式会社と連携し、企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電力を県内企業等に供給する「いわて復興パワー水カプレミアム」の取組を実施し、3月末時点で契約者数は1件となっています。
- 「アマリングリーンでんき」及び「いわて復興パワー水カプレミアム」の契約者に、岩手県企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電気を使用していることを証明する認証書を交付しました。

※「アマリングリーンでんき」及び「いわて復興パワー水カプレミアム」の取組によって供給されたCO₂フリーの電気は、年間1,012t以上の温室効果ガス削減効果に相当します。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- 1) クリーンエネルギー導入支援事業では、市町村等が行うLED等の設置事業に対して、**9件**（うち震災復興関連事業は1件）の支援を行ったほか、**平成28年台風第10号災害**への特別支援についても、**1件**の支援を行いました。
- 2) 植樹活動支援事業では、年度当初に**13件**の支援を予定していましたが、そのうち**新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により6件の事業が中止**となったため、**二次募集**を実施し、計**9件**の支援を行いました。（うち2件の植樹活動に計35名の職員が参加しました。）

③ 水素利活用推進プロジェクト

- 1) 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、令和2年度「**水素利活用による再生可能エネルギー推進事業**」への一般会計繰出しによる財政支援を実施しました。

主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

- 1) いわて復興パワーによる**電気料金の割引**について、供給可能な電力量に余裕があることから、**関係部局と連携**しながら対象企業等に**PR**を行うなど、**更なる活用促進**を図っていきます。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- 1) クリーンエネルギー導入支援事業及び植樹活動支援事業について、**低炭素社会の形成の観点**から、来年度に向けて**支援内容の見直し**を検討します。

③ 水素利活用推進プロジェクト

- 1) 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、環境生活部が行う再生可能エネルギー由来の水素を利活用する取組について、引き続き、**検討会議への参加**や**財政支援**などに取り組みます。

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

1 電気事業

① 供給電力量電源別内訳(千 kWh)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	計画	203,814	118,365	322,179	72,821	108,404	503,404
	実績	221,583	179,111	400,694	58,816	<u>154,560</u>	<u>614,070</u>
	達成率	109%	151%	124%	81%	<u>143%</u>	<u>122%</u>
風力	計画	14,328	9,019	23,347	15,833	14,834	54,014
	実績	15,109	8,472	23,581	15,854	<u>18,625</u>	<u>58,059</u>
	達成率	105%	94%	101%	100%	<u>126%</u>	<u>107%</u>
太陽光	計画	475	405	880	285	288	1,453
	実績	518	444	962	271	<u>194</u>	<u>1,426</u>
	達成率	109%	110%	109%	95%	<u>67%</u>	<u>98%</u>
合計	計画	218,617	127,789	346,406	88,939	123,526	558,871
	実績	237,210	188,027	425,237	74,940	<u>173,379</u>	<u>673,556</u>
	達成率	109%	147%	123%	84%	<u>140%</u>	<u>121%</u>

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

② 気象データ(%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
出水率	75%	135%	98%	76%	<u>163%</u>	<u>103%</u>
降水量平年比	104%	138%	125%	80%	<u>123%</u>	<u>114%</u>
平均風速平年比	98%	92%*	95%*	93%*	<u>110%*</u>	<u>98%*</u>
日射量平年比	97%	88%	93%	93%	<u>99%</u>	<u>94%</u>

*データ欠測のため、稲庭高原風力の9月分以降は高森風力の風速データを準用し、平均風速平年比を算出した。

③ 供給停止*件数の過去平均と原因別比較(件)

	H22-H30 平均	R2	R3	R4	R5
人的ミス等	1	1			
設備不良等	2	4			
合計	3	5			

*供給停止：人的ミスや設備不良など、企業局の責による理由で、計画した電力の供給ができないこと

④ 発電所建屋等の耐震化工事(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	2		
実績	16	2			
達成率	80%	90%			

⑤ 電力土木施設の耐震診断(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	5	3	2
実績	25	2			
達成率	68%	73%			

令和2年度 経営評価総括表 [実績]

⑥ 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,485	1,309	2,793	1,224	1,297	5,314
	実績	1,518	1,430	2,948	1,189	<u>1,360</u>	<u>5,498</u>
	達成率	102%	109%	106%	97%	<u>105%</u>	<u>103%</u>
風力	予算	311	196	507	344	326	1,178
	実績	328	184	513	345	<u>407</u>	<u>1,265</u>
	達成率	106%	94%	101%	100%	<u>125%</u>	<u>107%</u>
太陽光	予算	17	15	32	10	10	52
	実績	19	16	35	10	<u>7</u>	<u>51</u>
	達成率	109%	110%	109%	95%	<u>67%</u>	<u>98%</u>
合計	予算	1,813	1,520	3,333	1,578	1,634	6,545
	実績	1,865	1,630	3,495	1,544	<u>1,775</u>	<u>6,814</u>
	達成率	103%	107%	105%	98%	<u>109%</u>	<u>104%</u>

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

⑦ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	当初予算額	決算額	
経常収益	6,835	<u>7,109</u>	(経常収益=電気事業収益-特別利益)
経常費用	5,609	<u>4,866</u>	(経常費用=電気事業費用-特別損失-予備費)
経常利益	1,226	<u>2,243</u>	(経常利益=経常収益-経常費用)

2 工業用水道事業

① 実使用水量(千 m^3 、%)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
計画	計画	1,818	2,046	3,864	2,146	2,214	8,224
	実績	1,630	1,834	3,464	<u>1,882</u>	<u>1,970</u>	<u>7,316</u>
	達成率	90%	90%	90%	88%	<u>89%</u>	<u>89%</u>

② 料金収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
一般給水	予算	135	141	276	145	149	570
	実績	131	134	265	137	<u>138</u>	<u>540</u>
	達成率	97%	95%	96%	95%	93%	95%
ろ過給水	予算	53	54	107	54	52	213
	実績	53	54	107	47	52	206
	達成率	100%	100%	100%	87%	100%	97%
合計	予算	188	195	383	199	201	783
	実績	184	187	371	184	<u>191</u>	<u>746</u>
	達成率	98%	96%	97%	92%	<u>95%</u>	<u>95%</u>

③ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	当初予算額	決算額	
経常収益	829	<u>792</u>	(経常収益=工業用水道事業収益-特別利益)
経常費用	825	<u>741</u>	(経常費用=工業用水道事業費用-特別損失-予備費)
経常利益	4	<u>51</u>	(経常利益=経常収益-経常費用)

令和3年度 第1四半期 取組状況の総括

1 電気事業

第1四半期においては、出水量の多かった2・3月分の貯水を活用したことなどから、供給電力量は計画値を上回りました。

また、再生エネルギーの維持拡大に向けた**新規開発・再開発の発電所建設**については、概ね計画どおり進捗しています。

指標一覧（第1四半期時点）

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり		R3目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	供給電力量(百万 kWh)	536	235/219
	発電所建屋等の耐震化率(%)	100	90/90
	電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	86	73/73
取組内容	進捗状況：11項目中 a 11項目(100%) b なし c なし		
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大		R3目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	新規開発・再開発による供給電力量(千 kWh)	7,757	0/0
取組内容	進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営		R3目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	経常収支比率(%)	124	※年度末に評価
取組内容	進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		

注) 進捗状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

【主な成果等】

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

安定供給の目安となる供給電力量の目標達成に向けて、計画的な施設の修繕・改良に取り組んでおり、予定している取組については、概ね計画どおり進捗しています。

(2) 再生可能エネルギーの維持拡大

計画どおり、7月1日に**築川発電所**が営業運転開始しました。

また、**稲庭高原風力発電所の再開発**については、6月に**既設風車の撤去**が完了し、令和3年度末の運転開始に向けて、現在**新風車の基礎工事**を進めています。

(3) 経営環境の変化に対応した安定経営

非FIT水力発電所の次期売電契約の締結に向け、電力自給率の向上、安定経営、地域貢献を基本方針とした**売電先の選定方法（公募型プロポーザル方式）**を決定しました。

【主な課題と今後の対応】

稲庭高原風力発電所の再開発については、令和3年度末の運転開始に向け、受注者間の調整を行い、適切に**現地施工を進めていきます**。**胆沢第二・入畑発電所の再開発**については、今年度中の**固定価格買取制度認定**に向けて取り組んでいきます。

また、**非FIT水力発電所の次期売電契約**について、適正な電力量収入の確保に向け、**電力供給契約の締結**を行います。

2 工業用水道事業

第1四半期においては、工事・委託とも概ね計画どおりに進捗しており、良質な工業用水の安定供給を継続しています。

指標一覧（第1四半期時点）

(1) 良質な工業用水の安定供給		R3目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	供給停止件数(件/年)	0	0/0
取組内容	進捗状況：8項目中 a 8項目(100%) b なし c なし		
(2) 新たな水需要への対応			
取組内容	進捗状況：1項目中 a 1項目(100%) b なし c なし		※経営目標・参考指標設定なし
(3) 安定的な事業運営		R3目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	経常収支比率(%)	107	※年度末に評価
取組内容	進捗状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし		

注) 進捗状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

【主な成果等】

(1) 良質な工業用水の安定供給

新型コロナウイルス感染対策や職員が罹患した場合の管理体制について整理するなど、適切な保守管理の実施に努めており、安定供給を継続しています。

また、令和2年度に発生した老朽化に伴う漏水事故の本復旧工事に向けて設計準備を進めています。

(2) 新たな水需要への対応

新浄水場建設事業及び取水口建設事業を概ね計画通り進めています。

(3) 安定的な事業運営

ユーザー企業の水需要の動向を踏まえ、金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、設計業務の発注準備を進めています。

また、契約水量の維持・増量に向けた取組として、ユーザー訪問による使用水量の動向などについての情報交換を行っています。

【主な課題と今後の対応】

新たな水需要への対応について、令和5年4月からの一部給水開始に向けて、関係機関との調整を行いながら、整備を進めていきます。

3 組織力向上と地域貢献

第1四半期においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めつつ、概ね計画どおり進捗しています。

指標一覧（第1四半期時点）

(1) 組織力向上		R3目標値	第1四半期（実績値）
経営目標 ※計画期間(R2～R5)累計	第二種電気主任技術者 新規資格取得者数（人）	3	4
	第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数（人）	1	0
取組内容	進捗状況：11項目中 a 10項目(91%) b 1項目(9%) c なし		
(2) 地域貢献		R3目標値	第1四半期（実績値）
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t以上/年)	120以上	※年度末に評価
取組内容	進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		

注) 進捗状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

【主な成果等】

(1) 組織力の向上

第二種電気主任技術者の資格を1名が取得しました。

また、企業局のPR及びリクルート活動の一環として、県内の学校に企業局職員を講師として派遣し、業務説明を行いました。

毎年開催している施設見学会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、今年度は開催を見合わせることにしました。

(2) 地域貢献

「いわて復興パワー」による電気料金の割引や企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電力を供給する取組を継続しています。

また、温室効果ガスの削減目標の達成に向けて、クリーンエネルギー導入支援事業では、9件の交付決定を行ったほか、15件の植樹活動への支援を決定しました。

【主な課題と今後の対応】

(1) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。

また、令和2年12月から休止していた施設見学者の受入れについて、受入れ再開を取組目標に掲げておりましたが、県内でも新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まっていることから、今後の状況を注視し、再開時期を検討します。

(2) いわて復興パワーについては、供給可能な電力量に余裕があることから、関係部局と連携しながら対象企業等にPRを行うなど、更なる活用促進を図ります。

1 電気事業

(取組の方向性) (1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	219	115	334	72	130	536	
	実績	235						
	達成率	108%						
発電所建屋等の耐震化率(%)	計画	90	90	90	90	100	100	
	実績	90						
電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	計画	73	73	73	73	86	86	
	実績	73						

参考指標 (H22-30 平均)	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]水力発電所の供給停止件数(件/年)	3	1					
[参考] 〃 の供給停止時間(時間/年)	68	2					
[参考] 〃 の供給停止電力量(百万 kWh/年)	0.055	0.0046					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- 供給電力量については、令和3年度第1四半期の水力、風力、太陽光合計の供給電力量は**235百万 kWh**、達成率は**108%**と計画値を上回りました。
 - 水力発電については、出水量が多かった2・3月分の貯水を活用したことなどにより、第1四半期の供給電力量は**108%**と計画値を上回りました。
 - 風力発電については、第1四半期の平均風速は94%と平年を下回ったことや、高森高原風力発電所の蓄電池焼損により4～6月にかけて出力制限を行ったことなどから、供給電力量の達成率は**93%**と計画を下回りました。
 - 太陽光発電については、第1四半期の日射量は102%と平年を上回ったことにより、供給電力量の達成率は**116%**と計画値を上回りました。
- 発電所建屋等の耐震化については、御所及び仙人発電所建屋の耐震化を実施する予定としており、御所発電所の工事契約を締結しました。なお、仙人発電所については、共同事業者との協議により、令和4年度の完成予定となったため、今年度の耐震化率は**95%**にとどまる見込みです。
- 電力土木施設の耐震診断については、岩洞第一発電所の電力土木施設の耐震診断の発注に向けた手続きを進めており、今年度末には**計画どおり86%**となる見込みです。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良等の実施	a		③	ア 新技術の導入	a	
	イ 電力土木施設等長寿命化対策	a			イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	a	
	ウ 耐震化計画の推進	a			④	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	a
②	ア 適切な保守作業の実施	a		イ 河川管理者等との連携		a	
	イ 風水害に備えた点検の重点化	a		ウ 発電所共同運転事業者との連携		a	
	ウ マニュアル等の見直し	a					

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 電力土木施設の長寿命化対策に関する検討会議(5/28)を開催し、**電力土木施設の点検周期、耐震化スケジュール等について協議**しました。

② 適切な保守管理

1) 年間スケジュールに基づき**工事等に伴う河川法手続き及び協議を実施**しています。

③ 新技術の導入

1) **IoT・AI技術の活用**については、昨年度、柏台発電所及び岩洞第一発電所において、発電機の回転速度のデータなど既存の集中監視制御システムでは遠隔監視していない信号を取得するなど**IoT機器の実証試験を開始**し、今年度は**四十四田発電所**において同様の実証試験を行う予定です。また、技術担当課長会議の特定課題検討グループにおいて、故障対応の迅速化や巡視点検の効率化といった**実証の効果について確認等を行います**。

2) **築川発電所の営業運転開始とともに、IP回線を活用した遠方監視制御システムを開始**しました。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

1) **岩洞ダム共有施設の改良工事**（国営岩手山麓農業水利事業）について、岩手山麓農業水利事業所と工事の実施時期等について協議(4/20、6/1)し、**事業の進捗状況等を確認**しました。

2) **胆沢第二発電所の農業用水に係る共有施設の改修工事**について、共同事業者である東北農政局及び県農林水産部と協議(5/13)し、**今後の進め方について確認**しました。

主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

1) 施設の計画的な修繕・改良の実施に向け、**工事、委託等の発注管理、進捗管理**に努めます。

② 適切な保守管理

1) 河川法手続きについて、工事等のスケジュールに合わせて、**適宜手続きを進めます**。

③ 新技術導入

1) 電力の安定供給を目的として、**保守の効率化に関するIoT機器の実証試験**をメーカーの協力により実施し、新技術導入に向けた**効果の確認や課題の整理等**を行います。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

1) **岩洞ダム共有施設の改良工事**については、東北農政局と、工事の進捗状況等について毎月協議・調整を行い、令和3年度分の**工事完了**を目指します。

2) **胆沢第二発電所の農業用水に係る共有設備の改修工事**については、今年度実施する設計業務委託の成果を基に事業費を精査し、東北農政局と**協議を進めます**。

- ・ 供給電力量電源別内訳
- ・ 気象データ
- ・ 供給停止件数の過去平均と原因別比較
- ・ 発電所建屋等の耐震化工事箇所数
- ・ 電力土木施設の耐震診断箇所数
- ・ 電力料収入
- ・ 収入、支出の状況 については補足説明資料のとおり

令和3年度 経営評価総括表 [第1四半期]

1 電気事業

(取組の方向性) (2)再生可能エネルギーの維持拡大

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
新規開発・再開発による供給電力量 (千 kWh)	計画	0	2,956	2,495	2,306	7,757	
	実績	0					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- 1) **新規開発**については、7月1日に**築川発電所が営業運転を開始**しました。
- 2) **再開発**については、稲庭高原風力発電所の営業運転開始(令和3年度末)に向け、**既設風車の撤去及び新風車の基礎工事**を進めています。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 築川発電所の建設	a		②	ア 稲庭高原風力発電所(令和2~3年度)	a	
	イ 新規開発に向けた調査等	a			イ 胆沢第二発電所の再開発(令和2~8年度)	a	
			ウ 入畑発電所の再開発(令和2~7年度)		a		
			エ 再開発の検討		a		

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 新規開発の推進

- 1) **築川発電所の建設**については、建屋工事及び水車発電機等据付工事が概ね完成し、6月に有水試験を実施するとともに、7月からの運転開始に向けた準備を進めました。
- 2) **新規開発に向けた調査**については、既存資料の**再精査**のほか**現地調査**を進めています。また、南本内地点ほか1地点において、流量観測調査を進めています。

② 再開発の推進

- 1) **稲庭高原風力発電所**については、5月から既設風車撤去工事を開始し、6月までに風車本体の撤去を完了しました。引き続き風車基礎の撤去を進めます。また、6月から新風車設置のための基礎工事を開始し、**概ね計画どおりに進捗**しています。
- 2) **胆沢第二・入畑発電所**については、固定価格買取制度の認定に必要な一般送配電事業者への系統連系申込みを行うなど、**概ね計画どおりに進捗**しています。
- 3) **再開発の検討**については、**既設水力発電所の再開発の可能性に関する検討**を進めています。

主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

- 1) **築川発電所の建設**については、営業運転開始後の**適切な維持管理**に努めていきます。
- 2) **新規開発に向けた調査**のため、開発候補地点の**現地調査**や関係機関への**現状調査**を実施します。

② 再開発の推進

- 1) 稲庭高原風力発電所については、**今年度末の運転開始**に向け、受注者間の調整を行いながら現地施工を進めていきます。
- 2) 胆沢第二・入畑発電所については、**今年度内の固定価格買取制度認定**に向けて取り組んでいきます。また、電気設備の更新に係る**詳細設計**を進めていきます。
- 3) 胆沢第二発電所代替放流設備設置工事については、農業用水の供給に支障が生じないよう、**令和5年度**の既設水車発電機等撤去工事の開始までの**完成**を目指します。

令和3年度 経営評価総括表 [第1四半期]

1 電気事業

(取組の方向性) (3)経営環境の変化に対応した安定経営

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	124	※年度末に評価	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項無し

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	a	△	②	ア 業務の効率化	a	△
	イ 供給電力量の向上に向けた取組	a	△		イ 経費の平準化	a	△
	ウ 地域新電力との協働・連携	a	△	③	電力の新たな付加価値の検討	a	△

注) 進捗状況 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 適正な収入の確保

- 1) 非FIT水力発電所の次期売電契約の締結に向け、電力自給率の向上、安定経営及び地域貢献を基本方針とした売電先の選定方法(公募型プロポーザル方式)を決定しました。
- 2) 令和7年度の容量市場への参加に向け、電力広域的運営推進機関が行う説明会への参加や情報収集を行いました。
- 3) 大規模災害や感染症拡大等により、通常の故障対応が不可能な場合における発電所別故障対応に関する考え方(優先順位)について、特定課題検討グループによる検討を進めています。
- 4) 現在の電力供給契約における東北電力(株)のプロポーザル提案事項である技術交流会を開催し、点検周期の延伸などについて情報交換しました。
- 5) 非FIT電源の非化石証書について、電力供給契約に基づき、毎月の電力量認定及び契約先への証書の受け渡しを適切に行いました。

② 経営の効率化

- 1) 第1回技術担当課長会議を開催し、今年度の特定課題など検討すべき課題やスケジュールの決定を行いました。
- 2) 年度別事業実施計画(10か年計画)について、令和3年度版を策定しました。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- 1) 国等の動向を注視しながら情報収集に努めています。

主な課題と今後の対応

① 適正な収入の確保

- 1) 非FIT水力発電所の次期売電契約について、適正な電力料収入の確保に向け、売電の基本方針等に基づく公募型プロポーザル方式により売電先の選定を行い、電力供給契約の締結を行います。
- 2) 電力広域的運営推進機関と容量確保契約の締結に向け、令和7年度の経済的ペナルティのリスク等を適切に検討の上、メインオークションへ応札を行います。
- 3) 仙人発電所1号水車ランナ購入について、令和4年度からの大規模修繕工事に向け、受注者とランナ製作に係る協議打合せ等を行います。
- 4) 非FIT電源の非化石証書について、毎月の電力量認定及び契約先への証書の受け渡しを適切に行います。
- 5) 現在の電力供給契約の相手方に対し、経営状況や県内供給状況の確認などを行い、リスク管理に努めます。

② 経営の効率化

- 1) 令和4、5年度の年間作業停止計画について、送配電事業者及びダム管理者など関係機関と協議を行い、2月末までに計画の調整を完了させます。
- 2) 業務の効率化のため、来年度の年度別事業実施計画（10か年計画）及び長期収支見通しの見直しについて検討します。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- 1) 築川発電所及び稲庭高原風力発電所の特定卸供給について、県内の地域新電力や市場価格等の動向をみながら再度検討を進めます。

令和3年度 経営評価総括表 [第1四半期]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1)良質な工業用水の安定供給

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給停止件数(件)	計画	0	0	0	0	0	0	
	実績	0						

参考指標		参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
[参考]工業用水の濁度(度)		0.6	0.5					
[参考]工業用水の水素イオン濃度(pH)		7.00	6.98					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項無し

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 旧第三工水中部工業用水道加圧脱水機更新	a	/	②	ア 適切な保守作業の実施	a	/
	イ 第二北上中部工業用水道配水管更新	a	/		イ 適切な水質管理の実施	a	/
	ウ 第二北上中部工業用水道天日乾燥床増設	a	/		ウ トラブル発生時の対応	a	/
	エ 金ヶ崎ろ過施設(第二期) 高圧受電設備等更新	a	/	③	新技術導入の検討	a	/

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとはC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

令和3年度に計画している工事等について、概ね計画どおり進捗しています。

【第二浄水場】

- ・配水管布設(1-2工区)工事 ⇒ 発注前準備
- ・天日乾燥床増設(土木)工事 ⇒ 発注前準備

【第三浄水場】

- ・加圧脱水機更新工事 ⇒ 施工中(工期: R2~R3)

【北上ろ過】

- ・導水管本復旧工事 ⇒ 発注前準備

【金ヶ崎ろ過】

- ・第二期高圧受電盤設備等更新工事 ⇒ 発注前準備

② 適切な保守管理の実施

- 1) 維持管理要領に基づき計画的な点検及び委託業務を実施しています。
- 2) 令和2年度に発生した老朽化等に伴う漏水事故の本復旧工事に向けて設計準備を進めています。

③ 新技術の導入

- 1) 空中ドローンを活用した建設工事現場の工事写真撮影などを実施し、操作研修(局内)に参加しました。

主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

1) 各工事・委託が計画どおりに完了するよう、適切な**工程管理**に努めていきます。

② 適切な保守管理の実施

1) 今年度の改修工事等の実績を踏まえ、必要に応じて**維持管理要領の見直し**を行います。

③ 新技術の導入

1) **空中ドローンの活用**の可能性について検討を行うとともに、**新技術の導入**や**今後の動向**について**情報収集等**を行います。

2 工業用水道事業
(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

経営目標、参考指標の状況

設定なし

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
水需要に応じた施設の整備	a	

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み
注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとはC判定のものが両方ある場合
C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

水需要に応じた施設の整備について、浄水場建設事業及び取水口建設事業は概ね計画どおり進捗しています。

[浄水場建設事業] > 令和2年3月27日に契約締結済 (工期: R1~R4)

- ・土木(第一期)工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ 業務執行中 (R2.6.4 契約)
- ・機械設備(第一期)工事 ⇒ 機器製作中、一部配管納入
- ・電気設備(第一期)工事 ⇒ 機器製作中

[取水口建設事業] > 順次工事等発注 (工期: R2~R4)

- ・取水口建設土木工事 ⇒ 現地施工中
- ・取水ポンプ棟建築工事 ⇒ 発注前準備
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ 発注前準備
- ・取水口建設機械設備工事 ⇒ R3.4.12 契約済、受注者契約図書の精査中
- ・取水口建設電気設備工事 ⇒ R3.3.30 契約済、受注者契約図書の精査中

[配水管布設] > 順次工事等発注 (工期: R2~R4) > 市道整備や北上工業団地内の用地整備等への対応

《新浄水場分》

- ・配水管布設工事(第2工区) ⇒ 現地施工中(工期: R2~R3)
- ・配水管布設工事(第1工区) ⇒ 発注前準備(工期: R3~R4)

《既設浄水場配水管分》

- ・[第一浄水場] 配水管布設工事 ⇒ 発注前準備
※令和3年度内給水開始予定の新規ユーザー向け配水管布設
- ・[第三浄水場ほか] 配水管盛替工事 ⇒ 発注前準備

主な課題と今後の対応

- 1) 建設工事については、令和5年4月からの一部給水開始に向けて、新浄水場や取水口、配水管の各施工業者との間で全体工程を随時調整するなど、工事全体の工程及び予算の管理を徹底し、施設・設備等の整備に影響が生じないよう努めていきます。
- 2) 配水管布設工事については、北上市道(東部道路)歩道部の岩掘削において道路構造物への影響が懸念されることから、北上市と協議の上、影響が生じない工法を選定し工事を進めていきます。

令和3年度 経営評価総括表 [第1四半期]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (3) 安定的な事業運営

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	107	※年度末に評価	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項無し

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	a	/	②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	a	/
	イ 経費の平準化	a	/		イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	a	/
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	a	/				

注) 進捗状況 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 経営の効率化

- 1) 業務の効率化について、同一箇所・同種の工事等を合冊発注し、**経費節減**に努めています。
- 2) 経費の平準化について、年度毎の工事委託等の平準化を図るため、**年度別事業実施計画の見直し**を進めています。
- 3) 効率的な経営の在り方の検討については、**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減**に向けて、金ヶ崎ろ過施設(第二期)電気設備の更新工事等を予定しており、令和3・4年度の工事実施に向けた**発注準備**を進めています。

② 適切な収入の確保

- 1) 契約水量の維持・増量に向けた取組として、4月に**ユーザー訪問**を実施し、使用水量の動向などについて**情報交換**を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、半数程度のユーザーのみの訪問となったことから、次回予定している決算概要説明については、**ウェブの活用**も検討しています。
- 2) 改良費に対する**補助金や公営企業債の要望**として、6月17日に**政府予算要望**を行いました。
- 3) 国土強靱化のため、国庫補助金等を活用し、脱水機の増強等を行い、**効率的な経営**に努めています。

主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

- 1) 令和3年4月に**事業統合**し、改良・修繕・委託に関する長期的な計画にあたり、事業全体で平準化や集中化による弾力的な運用が可能となることから、**効率的な工事発注や施設改修等**が図られるよう努めていきます。
- 2) 令和5年度から予定している**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジング**等により、**経費削減**に努めていきます。

② 適切な収入の確保

- 1) **新型コロナウイルス感染症**の影響など、**ユーザー企業の実使用水量の動向**に注視していきます。
- 2) 改良費に対する**補助金や公営企業債**に関する国の動向等に注視しながら、適時適切に**国への要望**等を行います。

・実使用水量、料金収入、収入、支出の状況については補足説明資料のとおり

令和3年度 経営評価総括表 [第1四半期]

3 組織力向上と地域貢献
(取組の方向性) (1)組織力向上

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	3				3	
	実績	4					
第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	1				1	
	実績	0					

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]第一・二種電気主任技術者有資格者数(人)	6	7					
[参考]第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)	6	6					
[参考]専門研修受講者数(人)	412	111					
[参考]職員満足度調査における満足度(%)	79						
[参考]企業局施設見学者数(人)	1,574	0					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- 1) 第二種電気主任技術者の新規資格取得者数については、実務経験により**1名が資格を取得**しました。
- 2) 第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、県土整備部の**ダム点検に同行**し経験を積む取組みをしています。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	a		③	ア ワーク・ライフ・バランスの確保	a	
	イ 有資格者の計画的な確保	a			イ 職場の働きやすさ向上	a	
	ウ 人材育成・技術継承	a			ウ 安全衛生対策の充実	a	
	エ 経営力の強化	a		④	ア 広報活動	a	
②	ア 災害への対応体制の確立	a			イ 企業局施設の見学者の受入れ、施設見学会の開催	b	
	イ リスクマネジメント	a					

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 人材の確保・育成

- 1) 研修検討会議において決定した今年度の**専門研修実施計画**に沿って、研修を実施しています。
- 2) 企業局のPR及びリクルート活動の一環として、県内の学校に企業局職員を**講師として派遣し、業務説明(5/25)**を行いました。

② 危機管理対策、リスクマネジメント

- 1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、**岩手県企業局新型インフルエンザ等対策業務継続計画**を改訂しました。

③ 職場環境の充実

- 1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染が拡大している地域等への出張の取りやめ、手洗いや咳エチケットの励行などの**感染防止対策、時差出勤の活用、在宅勤務**の実施等に取り組みました。

④ 企業局事業の理解促進

- 1) 企業局施設カードの配布と施設見学者の受入れについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止及び冬期間における安全確保の観点から、令和2年12月1日から休止しています。
- 2) 企業局施設見学会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、今年度は開催を見合わせることにしました。

主な課題と今後の対応

① 人材の確保・育成

- 1) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。
- 2) リクルート活動などの取組により採用計画に基づく新採用職員の確保に努めていきます。また、土木職については、県土整備部との緊密な連携により、必要な人員の確保に努めていきます。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

- 1) リスクマネジメントにおいては、新型コロナウイルス感染症への対応も含めて、取組を進めていきます。
- 2) 災害応急対策マニュアルについては、今後も必要に応じ見直しを行います。

③ 職場環境の充実

- 1) ワーク・ライフ・バランスの確保、職場の働きやすさ向上については、昨年度実施した職員満足度実施結果等をもとに、局内に設置した働き方改革検討推進会議及び推進チームにより、働き方改革に係る具体的な取組の実施方法について検討していきます。
- 2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染症予防対策の徹底に努めます。

④ 企業局事業の理解促進

- 1) 企業局施設カードの配布と施設の見学者の受入れについては、今後の状況を注視し、再開時期を検討します。
- 2) 企業局施設見学会の開催を見合わせたことから、地域における環境学習機会の提供や企業局の理解促進を図るための代替策等について検討します。

令和3年度 経営評価総括表 [第1四半期]

3 組織力向上と地域貢献
(取組の方向性) (2)地域貢献

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(t以上/年)	実績(t以上/年)	達成度
地域貢献による温室効果ガス削減量	120以上	※年度末に評価	

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援金額(千円)	23,000	0					
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援件数(件/年)	9	0					
[参考]植樹活動支援事業の支援金額(千円)	2,300	1,001					
[参考]植樹活動支援事業の支援件数(件/年)	13	6					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項なし

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果	取組内容	進捗	成果
① ア 小売電気事業者と連携した取組 イ 一般会計への繰出し	a	/	② ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村等向け補助事業) イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	a	/
	a	/		a	/
				③ 水素利活用への取組	a

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 電力供給を通じた地域貢献

- 平成30年度から、東北電力株式会社と連携して取り組んでいるいわて復興パワーによる電気料金の割引については、6月末時点で適合事業者数は**776件**となっています。
- また、令和2年4月1日より、久慈地域エネルギー株式会社と連携し、滝発電所で発電したCO₂フリーの電力を供給する「アマリングリーンでんき」の取組を実施し、6月末時点で契約者数は**27件**となっています。
- さらに、令和2年6月1日より、東北電力株式会社と連携し、企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電力を県内企業等に供給する「いわて復興パワー水力プレミアム」の取組を実施し、6月末時点で契約者数は**2件**となっています。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- クリーンエネルギー導入支援事業では、市町村等が行うLED等の設置事業に対して、**9件**(うち震災復興関連事業は2件)の交付決定を行っています。
- 植樹活動支援事業では、**15件**の内示を行い、6月末時点で**6件**の事業を支援しました。うち1件については企業局職員も参加して植樹活動を行いました。

③ 水素利活用推進プロジェクト

- 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、令和3年度「水素利活用による再生可能エネルギー推進事業」への一般会計繰出しによる財政支援を実施しています。

主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

1) いわて復興パワーによる電気料金の割引については、供給可能な電力量に余裕があることから、関係部局と連携しながら対象企業等にPRを行うなど、更なる活用促進を図っていきます。

② 地球温暖化防止に向けた取組

1) 植樹活動支援事業については、温室効果ガスの削減目標の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対策状況を見ながら、支援の拡充等を検討していきます。

③ 水素利活用推進プロジェクト

1) 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、環境生活部が行う再生可能エネルギー由来の水素を利活用する取組について、引き続き、検討会議への参加や財政支援などに取り組みます。

【補足説明資料】

1 電気事業

① 供給電力量電源別内訳(千 kWh)

		1/4	2/4	3/4	4/4	年間
水力	計画	205	106	58	115	484
	実績	222				
	達成率	108%				
風力	計画	13	8	14	15	50
	実績	12				
	達成率	93%				
太陽光	計画	0.5	0.4	0.2	0.2	1.3
	実績	0.5				
	達成率	116%				
合計	計画	219	115	72	130	536
	実績	235				
	達成率	108%				

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

② 気象データ(%)

	1/4	2/4	3/4	4/4	年間
出水率	90				
降水量平年比	114				
平均風速平年比	94				
日射量平年比	102				

③ 供給停止*件数の過去平均と原因別比較(件)

	H22-H30 平均	R2	R3	R4	R5
人的ミス等	1	1	1		
設備不良等	2	4	0		
合計	3	5	1		

*供給停止：人的ミスや設備不良など、企業局の責による理由で、計画した電力の供給ができないこと

④ 発電所建屋等の耐震化工事(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	2		
実績	16	2	0		
達成率	80%	90%	90%		

⑤ 電力土木施設の耐震診断(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	5	3	2
実績	25	2	0		
達成率	68%	73%	73%		

令和3年度 経営評価総括表 [第1四半期]

⑥ 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,486	1,402	1,292	1,334	5,514
	実績	1,520				
	達成率	102%				
風力	予算	315	187	326	337	1,165
	実績	263				
	達成率	84%				
太陽光	予算	17	15	10	10	53
	実績	20				
	達成率	113%				
合計	予算	1,818	1,604	1,628	1,681	6,731
	実績	1,803				
	達成率	99%				

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

⑦ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	予算額	決算額
経常収益	7,040	
経常費用	5,912	
経常利益	1,128	

(経常収益=電気事業収益-特別利益)

(経常費用=電気事業費用-特別損失-予備費)

(経常利益=経常収益-経常費用)

2 工業用水道事業

① 実使用水量(千m³、%)

		1/4	2/4	3/4	4/4	年間
計画		2,038	2,061	2,056	2,140	8,295
実績		1,974				
達成率		97%				

② 料金収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	3/4	4/4	年間
一般給水	予算	145	147	147	148	587
	実績	145				
	達成率	100%				
ろ過給水	予算	53	54	54	52	213
	実績	53				
	達成率	100%				
合計	予算	198	201	201	200	800
	実績	198				
	達成率	100%				

③ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	予算額	決算額
経常収益	846	
経常費用	842	
経常利益	4	

(経常収益=工業用水道事業収益-特別利益)

(経常費用=工業用水道事業費用-特別損失-予備費)

(経常利益=経常収益-経常費用)

令和2年度岩手県電気事業会計決算概要

岩手県企業局

- 供給電力量は、水力発電で出水率の増等により、前年度比 22.9%増の 6億 7,355 万 kWh 余となり、電力料収入は、前年度比 9.9%増の 6 億 1 千 3 百万円余となった。
- 経常収益は、この収入増等により前年度比 9.1%増の 7 億 1 千万円余となり、経常費用は、委託費の減等により前年度比 6.9%減の 4 億 8 千 6 百万円余となった。
- この結果、経常利益は、前年度比 73.9%増の 2 億 4 千 2 百万円余となり、純利益は、特別損失の減により前年度比 85.6%増の 2 億 4 千 2 百万円余となり、平成 27 年度から 6 年連続 1 億円以上となった。

令和2年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益		7,108,153	6,514,410	593,743	9.1%
経常費用		4,865,610	5,224,694	△359,084	△6.9%
経常利益		2,242,543	1,289,716	952,827	73.9%
特別利益		0	0	0	—
特別損失		0	※ 81,320	△81,320	皆減
純利益		2,242,543	1,208,396	1,034,147	85.6%

※ 令和元年度は、北本内地点開発中止に伴い、特別損失（建設準備勘定の精算）を計上

1 電力の供給状況

風力発電は高森高原風力発電所の平均風速の低下等により減少したものの、水力発電で出水率の増により増加し、供給電力量は増となった。

(単位：千kWh)

区分	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較		備 考
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B	
水力 (16 発電所)		614,070	486,256	127,814	26.3%	出水率の増（下半期の出水率が高かったことによる） (R元：88.8%→R2：102.7%)
風力 (2 発電所)		58,059	60,245	△2,186	△3.6%	高森高原風力発電所の平均風速の低下 (R元：6.7m/秒→R2：6.6m/秒)
太陽光		1,426	1,711	△285	△16.7%	12月から2月の太陽光パネルへの着雪が多かったこと
合 計		673,555	548,212	125,343	22.9%	

2 経常収益の状況

風力発電は、高森高原風力発電所の平均風速の低下等により電力料収入が減（△47,016 千円）となったが、水力発電は、出水率の増等により電力料収入が増（670,337 千円）となったことなどから、前年度比 593,743 千円（9.1%）増の 7,108,153 千円となった。

3 経常費用の状況

水力発電設備の委託費の減等により、前年度比 359,084 千円（6.9%）減の 4,865,610 千円となった。

4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比 952,827 千円（73.9%）増の 2,242,543 千円、純利益は、前年度比 1,034,147 千円（85.6%）増の 2,242,543 千円となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区 分	経営目標	実 績	増 減	備 考
経常利益	1,226,000	2,242,543	1,016,543	電力料収入の増により、経常利益は増
経常収支比率	121.9%	146.1%	24.2ポイント	

令和2年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

岩手県企業局

- 工業用水供給量は、実使用水量が増加したものの、基本使用水量は減少し、**料金収入は、前年度比6.1%減の7億4千6百万円余**となった。
- **経常収益**は、料金収入が減となったことにより**前年度比9.0%減の7億9千1百万円余**となり、**経常費用**は、修繕費の減等により**前年度比8.0%減の7億4千万円余**となった。
- この結果、**経常利益**は、**前年度比21.5%減の5千万円余**となり、**純利益**は、特別利益の増により**前年度比7.1%減の5千9百万円余**となった。

令和2年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		791,018	869,626	△78,608	△9.0%
経常費用		740,392	805,141	△64,749	△8.0%
経常利益		50,626	64,485	△13,859	△21.5%
特別利益		※ 9,309	0	9,309	皆増
特別損失		0	0	0	—
純利益		59,935	64,485	△4,550	△7.1%

※ 令和2年度は、退職給付引当金残高を取崩したことに伴い、特別利益（退職給付引当金戻入）を計上

1 工業用水の供給状況

実使用水量は増となったが、ユーザー企業の使用廃止等に伴い基本使用水量は減となった。

(単位：千m³/年)

区分	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較		備考
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B	
基本使用水量		12,230	13,244	△1,014	△7.7%	ユーザー企業の使用廃止等に伴う基本使用水量の減
実使用水量		7,316	7,293	23	0.3%	使用実績による実使用水量の増
うち 超過水量		55	43	12	27.9%	

※ 供給先：北上工業団地、岩手中部工業団地に立地している19事業所

※ 増減率は、原数値で計算しているため、表中の数値による計算値とは必ずしも一致しない。

<1m³当たりの給水単価> (平成23年4月1日から)

税抜

料金種別	工業用水料金の額	超過料金の額※
基本使用水量 (基本料金)	42円	35円
使用水量 (使用料金)	3円	3円
超過水量 (超過料金)	90円	—

※超過水使用の場合は、工業用水料金に加算

2 経常収益の状況

基本使用水量の減により料金収入が減(△48,498千円)となったことなどにより、前年度比78,608千円(9.0%)減の791,018千円となった。

3 経常費用の状況

修繕費や人件費の減等により、前年度比64,749千円(8.0%)減の740,392千円となった。

4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比13,859千円(21.5%)減の50,626千円となり、純利益は、前年度比4,550千円(7.1%)減の59,935千円となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常利益	4,000	50,626	46,626	料金収入の減により経常利益は減となったが、修繕費や人件費等が減となり、経常収支比率の目標を達成。
経常収支比率	100.3%	106.9%	6.6ポイント	

令和2年度決算概要（予算との比較）

1 電気事業会計

(単位：千円) 税抜						
科目	年度	令和2年度 当初予算	令和2年度 最終予算 (A)	令和2年度 決算 (B)	比 較	
					増減額 (B-A)	増減率 (B-A) / A
経常収益		6,834,635	6,896,375	7,108,153	211,778	3.1%
経常費用		5,613,373	5,104,802	4,865,610	△239,192	△4.7%
経常利益		1,225,808	1,796,119	2,242,543	446,424	24.9%
特別利益		0	0	0	0	-
特別損失		0	0	0	0	-
純利益		1,221,262	1,791,573	2,242,543	450,970	25.2%
		(予備費 4,546)	(4,546)			

主な増減理由

【収益】 出水率の増等による水力発電電力料収入の増

【費用】 修繕費、委託費、負担金等の減

2 工業用水道事業会計

(単位：千円) 税抜						
科目	年度	令和2年度 当初予算	令和2年度 最終予算 (A)	令和2年度 決算 (B)	比 較	
					増減額 (B-A)	増減率 (B-A) / A
経常収益		829,015	789,941	791,018	1,077	0.1%
経常費用		825,115	771,073	740,392	△30,681	△4.0%
経常利益		4,355	19,323	50,626	31,303	162.0%
特別利益		0	9,309	9,309	0	0
特別損失		0	0	0	0	-
純利益		3,900	28,177	59,935	31,758	112.7%
		(予備費 455)	(455)			

主な増減理由

【収益】 実使用水量の増による給水収益の増、退職給付引当金からの戻入による特別利益の増

【費用】 委託費、修繕費等の減

参考資料2

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
1	電気事業			
	(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	・仙人発電所天井クレーン分解点検補修及び改良工事の契約締結、機器仕様の承諾 ・施設総合管理所大物倉庫他建替工事の発注に向けた申請手続き等の実施 ・北ノ又発電所キュービクル更新工事設計業務委託の完了	1	電気 県南 土木 総管 総管
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	・企業局電力土木施設維持管理方針及び解説版の改定 ・土木担当職員の技術向上を目的とした研修会開催 ・3施設（胆沢第二、入畑、早池峰）の劣化度調査の完了	2	土木 県南
	ウ-1 耐震化計画の推進（発電所建屋等の耐震化工事）	・2施設（岩洞第二、逆川）の耐震化工事完了	3	総管
	ウ-2 耐震化計画の推進（電力土木施設の耐震診断）	・仙人発電所取水塔耐震化に係る整備方針を共同事業者と協議し決定 ・2施設（仙人水圧管路、胆沢二補助水槽）の耐震診断の完了	4	土木 県南
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・電気主任技術者による安全パトロールの実施 ・高森高原風力発電所定期安全管理審査の受審 ・高森高原風力発電所環境モニタリング調査業務委託の実施（R2.5～R3.1） ・本年度実施予定の工事等に係る河川法手続の確実な申請 ・保安規程等に基づく計画的な保守作業の実施	5	電気 土木 総管 県南
	イ 風水害への備え	・北ノ又第二発電所の地滑り対策の実施（林野庁で実施中の北ノ又第二発電所の地滑り対策の効果検証を踏まえた土木施設復旧工事計画の策定） ・台風災害を想定した訓練等の実施	6	土木 総管 総管
	ウ マニュアル等の見直し	・施設更新等に伴う保守要則の改定	7	電気
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術の導入	・空中ドローンの購入、各事業所への配備 ・鉄管ドローンによる鉄管内部点検の試行と今後の導入の可否判断 ・情報伝達システムの整備	8	電気 土木 電気
	イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	・施設総合管理所集中監視制御システム改修工事の契約締結、親局改造の完了（築川発電所IP化）	9	電気 総管
	④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携			
	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	・岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）の変更協定締結に向けた協議、定期的な打合せの実施 ・胆沢第二発電所共有施設の再開発に係る実施計画策定 ・農業用水の安定供給 ・若柳堰堤ゲート自動制御装置の改修方針の策定	10	土木 総管 土木 総管 県南
	イ 河川管理者との連携	・ダム事前放流に向けた治水協定締結 ・北上川上流ダム再生事業に係る情報収集	11	土木
	ウ 発電所共同運転事業者との連携	・仙人発電所の変電所に関して共同運転事業者と協議を行い、運用方針を決定 ・仙人発電所取水口法面対策工事（アンカー頭部処理）の完成及び今後の調査方法の決定 ・年間作業停止計画に基づく、電源開発(株)、東北自然エネルギー(株)との点検及び工事の実施	12	電気 土木 県南

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大				
① 新規開発の推進				
ア	篠川発電所の建設	・水車発電機等製作据付工事の機器製作及び据付の部分完了（水車据付等）	13	電気 総管
		・落石防止対策工事他の完成		土木 総管
イ	新規開発に向けた調査等	・新規開発地点の再検討結果とりまとめ ・槻木平地点開発方針の決定	14	土木
② 再開発の推進				
ア	胆沢第二発電所	・胆沢第二発電所電気設備更新工事の契約締結	15	再開発 電気
		・代替放流設備詳細設計業務委託の完了 ・系統接続に係る検討申し込み		再開発
イ	入畑発電所	・入畑発電所電気設備更新工事の契約締結	16	再開発 電気
		・系統接続に係る検討申し込み		再開発
ウ	稲庭高原風力発電所	・風力発電システム製作据付ほか工事の契約締結、地質調査、基礎設計、機器設計及び土地造成の完了 ・電気事業法に基づく工事計画届出の完了	17	再開発 総管
		・既設風車撤去解体工事の契約締結 ・風況観測業務委託の完了		再開発
		エ	再開発の検討	・既設発電所の再開発の可否の判断
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営				
① 適正な収入の確保				
ア	適正な売電価格の確保	・容量市場への参加（期待容量の登録、応札容量・価格の登録、容量確保契約の締結） ・非化石価値取引の実施（非FIT非化石価値の証書化、FIT非化石価値のトラッキング実証試験参加） ・次期電力供給契約の売電価格の検討に向けた市場価格の情報収集	19	電気
イ-1	供給電力量の向上に向けた取組（点検周期等の見直し）	・保守要則に基づく巡視点検や定期点検の実施状況の確認	20	電気
イ-2	供給電力量の向上に向けた取組（高効率機器の導入）	・仙人発電所 2号ランナ新製工事の契約締結	21	県南
ウ	地域新電力との協働・連携	・現契約による協働・連携の実施（経営状況の確認、県内供給状況の確認）	22	電気
② 経営の効率化				
ア	業務の効率化	・技術担当課長会議の実施（年5回）	23	電気 土木
		・年間作業停止計画の策定（送配電事業者およびダム管理者など、関係機関との作業停止予定の調整による発電所の効率的な運用）		電気 総管
イ	経費の平準化	・長期的な収支を踏まえた10ヵ年計画の改定	24	電気 土木
③ 電力の新たな付加価値の検討				
ア	電力の新たな付加価値に関する情報収集等	・情報収集、調査等の実施（他県等の状況把握など）	25	電気 企画

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
2	工業用水道事業			
	(1) 良質な工業用水の安定供給			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 旧第三北上中部工業用水道加圧脱水機更新	・空気圧縮機等製作、分電盤等製作	26	事業 県南
	イ 第二北上中部工業用水道配水管更新	・工事の完成	27	事業 県南
	ウ 第二北上中部工業用水道天日乾燥床増設	・詳細設計業務委託の完了	28	県南
	エ 金ヶ崎ろ過施設（第一期）高圧受電設備等更新	(R3以降の取組)	29	事業
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・工業用水道施設維持管理要領の改定 ・工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な点検及び作業等の実施	30	事業 県南
	イ 適切な水質管理の実施	・工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な水質計器等の保守管理の実施 ・水質異常に対する訓練等の実施	31	県南
	ウ トラブル発生時の対応	・トラブル対応訓練の実施	32	県南
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術導入の検討	・先進事例等の情報収集	33	県南
	(2) 新たな水需要への対応			
	水需要に応じた施設の整備			
	施設・設備の整備	・新たな水需要のための水源確保 ・水利権許可申請及びダム使用権移転許可申請手続の実施 ・配水管本管盛替工事等設計業務委託の完了 ・新浄水場建設工事の進捗管理、取水口建設、配水管布設工事の契約締結	34	事業 県南
	(3) 安定的な事業運営			
	① 経営の効率化			
	ア 業務の効率化	・複数施設の委託業務の合冊発注等による業務の効率化の実施	35	県南
	イ 経費の平準化	・長期的な収支を踏まえた年度別事業実施計画の改定	36	事業 県南
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	・事業統合に向けた条例改正等の手続の実施 ・金ろ二期電気設備詳細設計の完了	37	事業 県南
	② 適切な収入の確保			
	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	・ユーザー企業への訪問 ・新規契約・増量企業等の給水手続きの迅速な対応	38	事業 県南
	イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	・国庫補助金や公営企業債枠の拡大を国へ要望 ・補助金の申請 ・企業債の借入等	39	事業 子経
3	組織力向上と地域貢献			
	(1) 組織力向上			
	① 人材の確保・育成			
	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	・インターンシップや業務説明等の実施、知事部局等との人事交流により必要な人材を確保 ・令和3年度の業務運営に最適な組織体制を確保	40	管理
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	・資格取得の支援・奨励により資格取得者を確保 ・知事部局等と人材育成のための人事交流を継続 ・電験試験等の情報掲載により資格取得を支援	41	管理 総管
	ウ 人材育成・技術継承	・専門研修実施計画に基づく職場内研修やOJTの実施 ・外部研修受講の局内周知	42	管理
	エ 経営力の強化	・経営に関する研修、マネジメント支援プログラムの実施	43	管理

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組				
	ア 災害への対応体制の確立	・災害応急対策マニュアルの改定 ・非常連絡訓練の実施 ・災害応急対応訓練の実施	44	管理 管理 総管 県南
	イ リスクマネジメント	・重要なリスクや対応状況などの今年度分の取りまとめを行い、適切にリスク管理が行われていることを確認 ・経営計画推進会議に報告し、局内で情報共有	45	企画
③ 職場環境の充実				
	ア ワークライフバランスの確保	・昨年度実施した職員満足度調査結果をもとに、働き方改革に係る具体的な取組の実施方法を決定 ・局長等と職員との意見交換会の実施（年7回）	46	管理
	イ 職場の働きやすさ向上	(46と同じ) ・県南施設管理所増築実施設計業務委託の完了 ・発電所等への女性用トイレの整備（4施設）	47	管理 土木 総管
	ウ 安全衛生対策の充実	・夏季、冬季安全パトロールの実施 ・労働災害無事故の継続	48	管理
④ 企業局事業の理解促進				
	ア 広報活動（PRグッズ配布、『みずりん・みどりん』によるPR）	・『みずりん・みどりんお知らせ隊』によるイベントへの参加及びPRグッズの作成・配布などを通じた積極的な情報発信を実施	49	企画
	イ 企業局施設での見学者の受入れ、施設見学会の開催	・新型コロナウイルス感染症への対応を考慮し、施設見学会の実施可否の検討や対応策等の実施 ・随時の見学者受入れの実施	50	企画 企画 総管 県南
(2) 地域貢献				
① 電力供給を通じた地域貢献				
	ア 小売電気事業者と連携した取組	・令和2年度から新たに追加した認定認証事業について、いわて復興パワー（電気料金割引）の適用企業の拡大を図るため、関係部局と連携したPRを実施 ・再生可能エネルギーの地産地消を実現するため、岩手県企業局の水力発電所で発電したCO2フリーの電力を県内企業等に供給する取組を実施	51	企画
	イ 一般会計への繰出し	・震災復興及びふるさと振興に寄与するため、一般会計への繰出しにより施策の財政的な支援を実施	52	企画
② 地球温暖化防止に向けた取組				
	ア クリーンエネルギー導入促進事業（市町村向け補助事業）	・県内のクリーンエネルギーの導入促進及び普及啓発を図るため、市町村等に対して補助金を交付（9件）	53	企画
	イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	・県内の環境保全やクリーンエネルギーの導入促進を図るため、一般会計への繰出しにより施策の財政的な支援を実施	54	企画
	ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	・水源涵養の促進及び環境保全活動を実施する市町村等に対し、苗木の提供や職員参加を行う(13件を支援)	55	企画
③ 水素利活用推進プロジェクト				
	ア 水素利活用への取組	・県の水素利活用に関する検討会議に参加し、取組の方向性や今後の動向に関する情報収集を実施	56	企画

参考資料3

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
1	電気事業			
	(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	【仙人】天井クレーン分解点検補修及び改良工事の完成 【仙人】水車発電機分解点検補修等工事(R3~R5)の契約締結 【北ノ又】33kVほかキュービクル更新工事(R3~R5)の契約締結 【北ノ又】配電盤更新工事(R3~R5)の契約締結 【北二】33kV連絡線更新工事(R3~R5)の契約締結 【松川】水車発電機分解点検補修等工事(R3~R4)の契約締結 【総管】大物倉庫他建替工事(R3~R4)の実施 (建築基準法手続き、工事契約締結、現地工事着手) 【県南】増築等工事の完成	1	電気 県南 電気 総管 土木 総管 土木 県南
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	【岩一】劣化度調査の完了 【岩二】劣化度調査の完了 【御所】劣化度調査の完了 【柏台】劣化度調査の完了 ・土木担当職員の技術向上を目的とした研修会の開催 ・長寿命化を目的とした電力土木施設の点検周期の見直し	2	土木 総管 土木
	ウ-1 耐震化計画の推進(発電所建屋等の耐震化工事)	【御所】耐震化工事の完成 【仙人】耐震化工事の契約締結、仮設足場の設置	3	土木 総管 土木 県南
	ウ-2 耐震化計画の推進(電力土木施設の耐震診断)	・4施設(岩洞第一水圧鉄管、大川水路橋、軽松沢鉄管橋、軽松沢川排砂門ピア)の耐震診断の完了	4	土木 総管
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・電気主任技術者による保安指導の実施(保安パトロール等) ・高森高原風力発電所環境モニタリング事後調査業務委託の完了 ・本年度実施予定の工事等に係る河川法手続きの申請許可 ・保安規程等に基づく計画的な保守作業の実施 (点検手入れ計画表の点検項目を全て実施)	5	電気 土木 総管 県南
	イ 風水害への備え	・自然災害の危険箇所調査の実施(全施設) ・台風災害を想定した訓練等の実施	6	土木 総管
	ウ マニュアル等の見直し	・施設更新等に伴う保守要則の改定	7	電気
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術の導入	・岩洞第一、四十四田、柏台発電所でのIoT機器実証試験による新技術導入に係る調査・検討 ・他事業者における導入事例の調査	8	電気 総管 土木
	イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	・施設総合管理所集中監視制御システム改修工事(築川発電所新設)の完成	9	電気 総管
	④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携			
	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	・岩洞ダム共有施設の改良工事(国営岩手山麓農業水利事業)の推進、事業費の適切な管理 ・胆沢第二発電所共有施設の改修に係る調査設計の完了 ・農業用水の安定供給(長期供給支障が無いこと) ・若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事の契約締結、操作卓完成	10	土木 総管 土木 総管 県南
	イ 河川管理者等との連携	・北上川上流ダム再生事業に伴う発電所への影響確認	11	土木
	ウ 発電所共同運転事業者との連携	・仙人発電所の構内受電系統の見直しに向けた共同運転事業者と協議・調整 ・和賀川河川環境保全事業の実施 ・電源開発(株)、東北自然エネルギー(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整	12	電気 県南 土木 県南

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大				
① 新規開発の推進				
ア	築川発電所の建設	・築川発電所 水車発電機等製作据付工事の完成、運転開始	13	電気 土木 総管
		・FIT売電契約の締結		電気
		・使用前安全管理審査ほか保安手続の完了		総管
イ	新規開発に向けた調査等	・槻木平地点（真湯測水所）撤去工事の完成 ・新規開発地点の現地状況の確認	14	土木
② 再開発の推進				
ア	胆沢第二発電所	・代替放流設備設置工事の契約締結、現地工事着手 ・水車発電機基礎構築設計業務の完了 ・発電所建屋改修設計業務の完了 ・系統連系に係る接続合意（連系契約の成立） ・固定価格買取制度（FIT）の事業計画認定	15	再開発
イ	入畑発電所	・水車発電機基礎構築設計業務の完了 ・系統連系に係る接続合意（連系契約の成立） ・固定価格買取制度（FIT）の事業計画認定	16	再開発
ウ	稲庭高原風力発電所	・FIT売電契約の締結	17	電気
		・新風車に係る機器据付、試験調整の完了、営業運転の開始		再開発 総管
		・既設風車及び基礎に係る撤去の完了 ・電気事業法に基づく工事計画届出事務の完了		再開発
エ	再開発の検討	・既設発電所の再開発検討業務の完了	18	電気 土木
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営				
① 適正な収入の確保				
ア	適正な売電価格の確保	・非FIT水力発電所の次期売電契約の締結 ・令和7年度容量確保契約の締結	19	電気
イ-1	供給電力量の向上に向けた取組（点検周期等見直し）	・複数発電所の故障発生時における対応優先順位の検討（具体的な課題の抽出）	20	電気
イ-2	供給電力量の向上に向けた取組（高効率機器の導入）	・仙人発電所 1号ランナ新製工事の契約締結	21	県南
ウ	地域新電力との協働・連携	・現売電契約による協働・連携の実施 （経営状況、県内供給状況、プロポーザル提案事項の確認）	22	電気
		・次期売電契約の公募条件の決定 （地域新電力等との協働・連携に係る提案評価）		電気 企画
② 経営の効率化				
ア	業務の効率化	・技術担当課長会議、保守担当者会議等の実施による技術的課題の解決や情報共有	23	電気 土木
		・年間作業停止計画の策定 （関係機関との調整による発電所の効率的な運用）		電気 総管
イ	経費の平準化	・長期的な収支を考慮した10か年計画の改定	24	電気 土木
③ 電力の新たな付加価値の検討				
ア	電力の新たな付加価値に関する情報収集等	・情報収集、調査等の実施・共有 （他県等の状況把握など）	25	電気 企画

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
2	工業用水道事業			
	(1) 良質な工業用水の安定供給			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 第三浄水場加圧脱有機機更新	・ [機械設備] 脱有機機製作・据付、補機類据付工事の完成 ・ [電気設備] 制御操作盤・CC盤等製作据付工事の完成	26	事業 県南
	イ 第二浄水場配水管布設（1-2工区）工事	・ 金ヶ崎工業団地内配水管更新工事の完成	27	県南
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設（土木）工事 ※ 建築物はR4年度に整備予定	・ 造成及び基礎杭工事の完成 ・ 農業用水路付替工事の完成	28	事業 県南
	エ 金ヶ崎ろ過施設（第二期）高圧受電設備等更新	・ 高圧受電盤・二回線受電切替盤ほか機器製作	29	県南
	オ 第一浄水場・第三浄水場配水管布設	・ 第一浄水場配水管布設工事の完成 ・ 第三浄水場配水管盛替え工事の完成	29-1	事業 県南
	カ 北上ろ過施設導水管本復旧工事	・ 工事の完成	29-2	県南
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・ 工業用水道施設維持管理要領の改定 ・ 工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な点検及び作業等の実施（点検項目を全て実施）	30	事業 県南
	イ 適切な水質管理の実施	・ 工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な水質計器等の保守管理の実施（点検項目を全て実施） ・ 水質異常に対する訓練等の実施	31	県南
	ウ トラブル発生時の対応	・ トラブル対応訓練の実施	32	県南
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術導入の検討	・ 先進事例等の情報収集・共有	33	県南
	(2) 新たな水需要への対応			
	水需要に応じた施設の整備			
	施設・設備の整備	・ 新北上浄水場及び取水口建設工事の進捗管理 ・ 配水管布設工事の施工に関するユーザー及び周辺企業との調整	34	事業 県南
	(3) 安定的な事業運営			
	① 経営の効率化			
	ア 業務の効率化	・ 複数施設の委託業務の合冊発注等による業務の効率化の実施	35	県南
	イ 経費の平準化	・ 長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の改定	36	事業 県南
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	・ 水需要の見直しに応じた施設規模の最適化（ダウンスizing）の検討	37	事業 県南
	② 適切な収入の確保			
	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	・ ユーザー企業への訪問 ・ 新規契約・増量企業等の給水手続きの迅速な対応	38	事業 県南
	イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	・ 国庫補助金や公営企業債枠の拡大を国へ要望 ・ 企業債の借入等	39	事業 予経

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
3	組織力向上と地域貢献			
	(1) 組織力向上			
	① 人材の確保・育成			
	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	・ インターンシップや業務説明等の実施、知事部局等との人事交流により必要な人材を確保 ・ 令和4年度の業務運営に最適な組織体制を確保	40	管理
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	・ 資格取得の支援・奨励により資格取得者の確保・養成 ・ 知事部局等との人事交流を継続し人材を確保 ・ 電験試験等の情報掲載により資格取得を支援	41	管理 総管
	ウ 人材育成・技術継承	・ 専門研修実施計画に基づく職場内研修やOJTの実施 ・ 外部研修受講の奨励	42	管理
	エ 経営力の強化	・ 経営に関する研修、マネジメント支援プログラムの実施	43	管理
	② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組			
	ア 災害への対応体制の確立	・ 災害応急対応訓練の実施 ・ 集中監視制御システム監視卓増設工事の完成 (新型コロナウイルス感染症の感染防止対応)	44	総管 総管
	イ リスクマネジメント	・ 重要なリスクや対応状況などを経営計画推進会議に報告し、局内で情報共有	45	企画
	③ 職場環境の充実			
	ア ワークライフバランスの確保	・ 働き方改革に係る取組の実施(テレワーク環境の整備、ICT等による業務効率化、職員の意識啓発等) ・ 局長等と職員との意見交換会の実施(年7回) ・ 職員満足度調査の実施	46	管理
	イ 職場の働きやすさ向上	(46と同じ) ・ 施設総合管理所建屋改修計画の方針決定 ・ 発電所等への女性用トイレの整備(御所、北ノ又、柏台) ・ 【総管】大物倉庫他建替工事(R3~R4)の実施(1の再掲) (建築基準法手続き、工事契約締結、現地工事着手)	47	管理 土木 総管
	ウ 安全衛生対策の充実	・ 夏季、冬季安全パトロールの実施 ・ 労働災害無事故の継続 ・ 新型コロナウイルス感染症感染防止対策の実施	48	管理
	④ 企業局事業の理解促進			
	ア 広報活動(PRグッズ配布、『みずりん・みどりん』によるPR)	・ 『みずりん・みどりんお知らせ隊』によるイベントへの参加及びPRグッズの作成・配布などを通じた積極的な情報発信の実施	49	企画
	イ 企業局施設での見学者の受入れ、施設見学会の開催	・ 新型コロナウイルス感染症への感染状況を考慮し、施設見学会の実施可否を判断(実施する際は実施方法の検討) ・ 随時の見学者受入れの実施	50	企画 企画 総管 県南
	(2) 地域貢献			
	① 電力供給を通じた地域貢献			
	ア 小売電気事業者と連携した取組	・ いわて復興パワー(電気料金割引)の対象拡大の検討 ・ 小売電気事業者及び関係部局と連携したPRの実施 ・ 小売電気事業者と連携したCO2フリーの電力の県内企業等への供給	51	企画
	イ 一般会計への繰出し	・ 震災復興及びふるさと振興に寄与に向けた、一般会計への繰出しによる施策の財政的な支援の実施	52	企画
	② 地球温暖化防止に向けた取組			
	ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村向け補助事業)	・ 県内のクリーンエネルギーの導入促進及び普及啓発に向けた市町村等に対する補助金の交付(9件)	53	企画
	イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	・ 県内の環境保全やクリーンエネルギーの導入促進に向けた一般会計への繰出しによる策の財政的な支援の実施	54	企画
	ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	・ 水源涵養の促進及び環境保全活動を実施する市町村等に対する苗木の提供や職員参加による支援の実施(13か所)	55	企画
	③ 水素利活用推進プロジェクト			
	ア 水素利活用への取組	・ 県の水素利活用に関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	56	企画